

静岡県御前崎市

# 文化財年報 X VII

令和 2 年度



2021

御前崎市教育委員会

表紙写真

御前崎市指定天然記念物「マキの木」

静岡県御前崎市

# 文化財年報 XVII

令和 2 年度

2021

御前崎市教育委員会





写真1 新たに指定された御前崎市指定天然記念物「旧朝比奈小学校の黒松」



1 案内看板の修繕前



2 案内看板の修繕後

写真2 「萬葉歌碑」・国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」案内看板の修繕

# 序 文

御前崎市は、広大な遠州灘を望む浜岡砂丘、数多くのウミガメが訪れる御前崎海岸、お茶の産地で有名な牧ノ原台地、白亜の灯台など、豊かな自然や風光明媚な環境に恵まれています。

また、縄文時代早期前半の異形局部磨製石器（トロトロ石器）が出土した西原遺跡をはじめ、戦国時代の城館にいたるまで100箇所以上様々な遺跡があります。さらに、古くからの信仰形態を残す桜ヶ池のお櫃納めなどの無形民俗文化財や庶民の厚い信仰によって永く守られてきた仏像や石仏などの有形文化財を各所に見ることができます。

文化財保護行政の役割は、このような先人達が守ってきた自然環境や歴史的文化遺産を保護・保存して後世に伝えていくとともに、より多くの方が当時の文化や歴史に触れ、その多様な価値によって豊かな生活を享受できるよう、それらの公開や活用を図っていくことです。そこで令和2年度も下記のとおり文化財保護事業を行いました。

つきましては、文化財の所有者や管理者、地域の方々をはじめとした市民の皆様の御理解、御協力に感謝し、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

以下、令和2年度に実施した文化財保護事業について報告します。

- 埋蔵文化財試掘調査4件(中尾八幡遺跡・賀茂神社東遺跡近接地・新野川南遺跡・城ヶ峰城跡)
- 埋蔵文化財工事立会1件(中尾八幡遺跡)
- 出土遺物整理事業(今年度試掘調査を実施した遺跡の遺物や図面等の整理)
- 国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業
- 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」保護事業
- 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更
- 市指定有形文化財「旧朝比奈小学校の黒松」の指定
- 「御前崎灯台」の文化財調査
- 白羽の風蝕礫産地案内看板の修繕工事
- 駒止観音堂案内看板・説明看板の更新工事
- 御前崎市文化財保護審議会
- 御前崎市文化財講座(佐倉地区)の開催
- 御前崎市歴史講演会の開催
- 歴史民俗資料等の利用・貸出し

令和3年3月31日

御前崎市教育委員会教育長 河原崎 全

# 例 言

- 1 本書は、令和2年度において御前崎市教育委員会が実施した文化財保護事業についてまとめたものである。
- 2 文化財保護事業は、埋蔵文化財調査・文化財保護・管理・文化財活用啓発活動に区分した。
- 3 令和2年度に試掘調査を実施した中尾八幡遺跡、賀茂神社東遺跡近接地の試掘報告書を本年報に掲載した。
- 4 試掘調査の体制は、次のとおりである。  
調査主体 御前崎市教育委員会
- 5 アカウミガメ保護活動の体制は、御前崎市教育委員会からウミガメ保護監視員を委嘱した。  
ウミガメ保護監視員 高田 正義（通算 24年目）  
大澤 茂美（通算 20年目）  
良知 正美（通算 14年目）  
澤部 春市（通算 8年目）  
早山 彰夫（通算 5年目）  
増田 均（通算 4年目）  
横山 俊明（通算 2年目）  
渡辺 元治（通算 1年目）
- 6 本書の刊行に関する事務は、御前崎市教育委員会社会教育課が行った。  
教 育 長 河原崎 全  
教 育 部 長 長尾 詔司  
社会教育課長 小野田 明人  
芸術文化係長 村本 薫  
芸術文化係長 鈴木 清嗣  
生涯学習係 井口 徳隆  
松井 佳穂
- 7 本書の執筆は文化財担当が分担して行い、編集を村本が行った。執筆分担は以下のとおりである。  
Ⅰ 埋蔵文化財調査 1～4 村本 薫  
Ⅱ 文化財保護・管理 1 鈴木清嗣 2・ 村本薫 3・ 井口徳隆  
Ⅲ 文化財活用啓蒙活動 1～9 村本 薫  
Ⅳ 指定文化財一覧表 村本 薫  
Ⅴ 文化財関係刊行図書一覧 村本 薫
- 8 本書に収録した図、写真はすべて御前崎市教育委員会が保管している。

# 目 次

卷頭図版

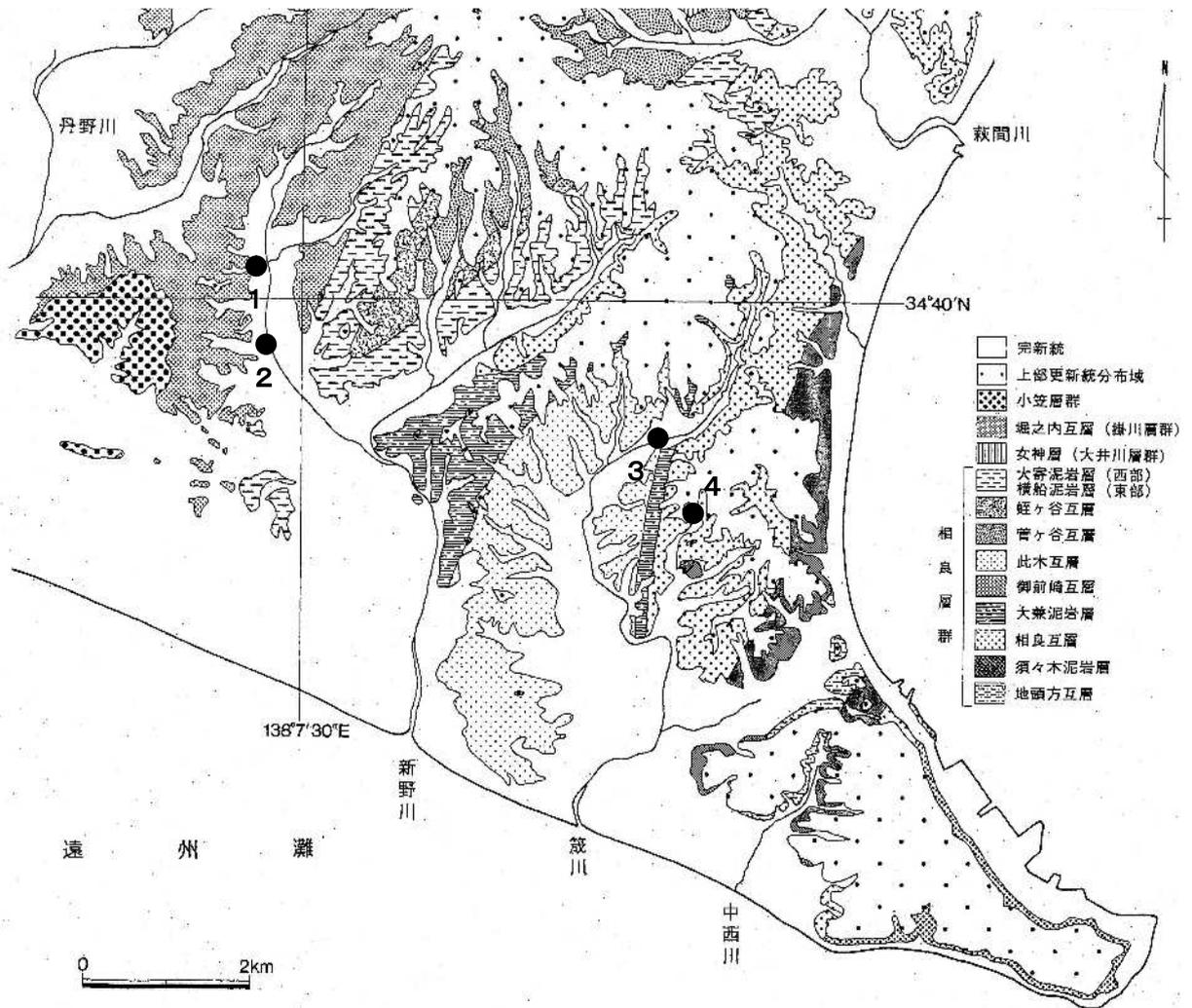
序 文

例 言

目 次

I	埋蔵文化財調査	1
1	市内遺跡試掘調査・工事立会の概要	1
2	中尾八幡遺跡調査報告書	2
3	賀茂神社東遺跡近接地試掘調査報告書	6
4	出土遺物整理事業	12
II	文化財保護・管理	13
1	国指定天然記念物「御前崎のウミガメ及びその産卵地」保護事業	13
2	国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業	39
3	県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更	42
4	市指定天然記念物「旧朝比奈小学校の黒松」の指定	46
5	「御前埼灯台」の文化財調査	49
6	文化財看板の修繕及び更新工事	67
7	文化財保護審議会	69
III	文化財活用・啓発活動	70
1	御前崎市文化財講座	70
2	御前崎市歴史講演会	73
3	写真資料の利用	74
4	歴史民俗資料等の貸出	74
5	歴史民俗資料等の特別利用許可	75
IV	指定文化財一覧	76
V	文化財関係刊行図書一覧	77

# 御前崎市の地形と調査・工事立会遺跡等の位置



## 埋蔵文化財試掘調査・工事立会箇所一覧

- 1 中尾八幡遺跡      2 新野川南遺跡      3 賀茂神社東遺跡近接地      4 城ヶ峰城跡

# I 埋蔵文化財調査

## 1 市内遺跡試掘調査・工事立会の概要

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)及びその周辺地において、電線張替工事や個人住宅建替工事等の開発事業に伴い、埋蔵文化財の所在の有無等を確認するため、試掘調査・工事立会を実施した。

試掘調査は、現地を詳細に踏査するとともに試掘坑を設定し、遺物や遺構の所在の有無や土層断面などを確認した。今年度は下表に示す、4件の試掘調査と1件の工事立会を実施した。

第1表 令和2年度 市内遺跡試掘調査・工事立会実施遺跡等一覧表

No.	遺跡等名	調査地	調査原因	事業主体	実施時期	面積/概要
1	中尾八幡遺跡	御前崎市 新野字中尾	個人住宅 新築工事	個人	R 2. 4. 8	試掘調査 3.75㎡ (試掘坑1カ所) 古墳時代の上師器 出土
2	中尾八幡遺跡	御前崎市 新野字中尾	個人住宅 新築工事	個人	R 2. 4. 30 ～8. 31	工事立会56.98㎡ 遺構・遺物未発見
3	賀茂神社東遺跡 近接地	御前崎市 比木字三間	個人住宅 新築工事	個人	R 2. 5. 12	試掘調査 2㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見
4	新野川南遺跡	御前崎市 新野木ヶ谷	クレーン用 資材置き場	株式会社 坂野クレーン	R 2. 6. 29	試掘調査 4.5㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見
5	城ヶ峰城跡	御前崎市 比木字名波	特別高圧送 電線の電線 張替工事	中部電力 パワーグリッド 株式会社	R 2. 11. 9～ R 2. 11. 12	試掘調査 2.3㎡ (試掘坑1カ所) 遺構・遺物未発見



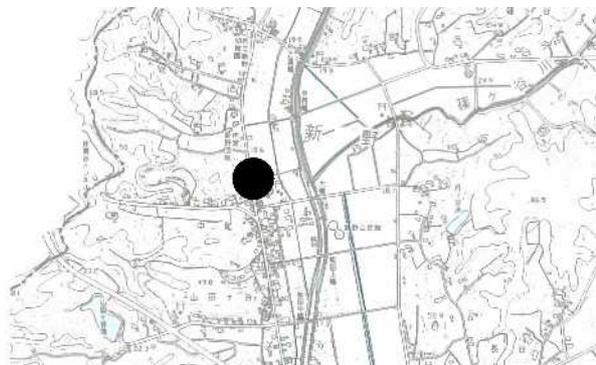
写真1 新野川南遺跡試掘調査試掘坑掘削



写真2 城ヶ峰城跡試掘調査試掘坑精査

# 中尾八幡遺跡試掘調査報告書

所在地 御前崎市新野 1660 番 1  
調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 3.75 m<sup>2</sup>(試掘坑 1 箇所)  
確認調査期間 令和 2 年 4 月 8 日  
調査目的 個人住宅新築工事に伴う  
試掘調査



第 1 図 遺跡の位置(1/25,000)

## (1) 調査に至る経緯

令和元年 12 月 5 日に御前崎市新野 1660 番 1 で予定されている個人専用住宅新築工事(以下、当該地という)における文化財の所在の有無についての照会があった。

それに基づき、照会のあった当該地の文化財について遺跡地図との照会をした結果、当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地である中尾八幡遺跡に位置していることが判明した。また今回実施した現地踏査では土器や石器などの遺物は発見されなかったが、中尾八幡遺跡からは以前に縄文時代の磨製石斧や古墳時代後期(6 世紀頃)の土師器と奈良時代(8 世紀)の須恵器の細片が出土している。

中尾八幡遺跡については、平成 27 年度にも周知の包蔵地内で個人専用住宅新築工事に伴う試掘調査が実施され、古墳時代の土師器が出土している。今回の調査地点は、平成 27 年度に実施した試掘調査箇所から 10m 以上離れており、当該地周辺の遺跡の詳しい内容が分からないことから、埋蔵文化財包含層の深さや遺跡の時代などを把握するための試掘調査を実施する必要があると判断された。

令和 2 年 1 月 30 日付で工事主体者である増田達雄氏より「埋蔵文化財の試掘・確認調査依頼書」と「埋蔵文化財発掘調査承諾書」の提出があったことから、令和 2 年 2 月 18 日に御教社第 185 号で、御前崎市教育委員会教育長 河原崎全より静岡県教育委員会教育長宛てに文化財保護法 99 条の 1 に基づく「発掘調査について」を送付した。

そして、令和 2 年 4 月 8 日に当該地に約 2.5m×1.5m の試掘坑を 1 箇所設定し、包含層の位置や厚さ、遺跡の時代、内容などを確認するための試掘調査を実施した。

## (2) 位置と環境(第 3 図)

中尾八幡遺跡は牧ノ原台地の南端を開析して南流する新野川の中流域右岸に位置する沖積地にある遺跡である。独立丘陵になっている中尾八幡遺跡の中心部には八幡神社が鎮座している。

新野川中流域の本遺跡周辺には、古墳時代後期から鎌倉時代の遺物が出土している新野川 A・B 遺跡や篠ヶ谷遺跡、篠ヶ谷ヒラシロ遺跡、幡室遺跡、十二僧御用田遺跡などの遺物散布地や集落跡が分布している。

また、中尾横穴群、中尾殿ノ谷横穴群などの横穴が中尾八幡遺跡の位置する新野川流域には、34 群 76 基以上の横穴が所在している。さらに、新野の古墳時代から奈良時代の中心的な集落と考えられる幡室遺跡内にある幡室古墳や、新野の天ヶ谷と菊川市高橋との境にある大型古墳である天ヶ谷古墳なども確認されている。

平成 18 年 3 月に御前崎市が発行した「浜岡町史資料編(考古)」では、中尾八幡遺跡について「当地域では少ない縄文遺跡として貴重であるし、有ヶ谷遺跡とともに、古墳時代集落跡としても注目される」と記されている。

(3) 調査概要

① 調査方法

試掘調査は、個人専用住宅新築工事予定地周辺に試掘坑(2m×3m)を1箇所設定して実施した。

試掘坑の掘削は、主に重機(バックホー0.25級)を使用して実施した。試掘坑の掘削終了後、完掘状況と土層断面の写真撮影を行い、土層柱状図を作成した(基本層序については②のとおりである)。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材等を撤収して試掘調査を終了した。調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

② 基本層序(第2図)

- I a 層 褐色土層(盛土) 旧水田を埋め立てた際の盛土であり、1~5cm位の小礫で構成されてる。
- I b 層 褐色土層(盛土) 旧水田を埋め立てた際の盛土であり青灰色の岩のブロックが多量に混入する山土。
- II 層 褐色粘土層 柔らかく粘性有。保水性有。下部に細長い橙色の管鉄が多量に混入する。旧水田の耕作土と考えられる。
- III 層 暗青褐色粘土層 細長い橙色の管鉄が混入しており、水田の床土と考えられる。粘性有り。
- IV 層 青色粘土層 柔らかく粘性有。保水性有。
- V a 層 暗褐色粘土層 古墳時代の土師器片が少量混入。1~5cm大の白色の岩石が少量混入。粘性・保水性有。やや締まり有。V b 層よりやや明るい。古墳時代の土師器片出土。
- V b 層 暗褐色粘土層 古墳時代の土師器片が少量混入。1~5cm大の白色の岩石が少量混入。保水性有。粘性がやや強い。V a 層よりやや暗い。古墳時代の土師器片が出土。

③ 包含層の出土遺物について

遺物は試掘坑1のV層の暗褐色粘土層から出土した。V層はV a 層までのII層に分層され、V a 層とV b 層から土師器の破片が9点出土した。

今回の試掘調査で出土した遺物はコンテナ1箱分で、すべて古墳時代の土師器の破片である。しかし、細片のため実測図は作成できず、器種も不明である。

(4) まとめ

今回の試掘調査では、中尾八幡遺跡の個人専用住宅新築工事周辺に、1箇所の試掘坑を設定して試掘調査を実施した。その結果、試掘坑1から古墳時代の土師器の破片が出土している。

中尾八幡遺跡では、今回の試掘調査箇所の南東側の茶畑から縄文時代の磨製石斧が採集されている。さらに、八幡神社が鎮座する独立丘陵上から古墳時代(6世紀頃)の土師器や奈良時代(8世紀頃)の須恵器の細片が採集されたことにより、縄文時代と古墳・奈良時代の遺物散布地として周知の埋蔵文化財包蔵地に登録されている。

遺物が出土したのは主に試掘坑1のV層からであり、古墳時代の遺物包含層であると考えられる。今回実施した試掘調査の試掘坑1の



第2図 土層柱状図(S=1/20)



層序は、平成 27 年度に実施した試掘坑 2 の層序とほぼ同じであり、中尾八幡遺跡の遺跡の範囲が徐々に判明してきた。

今後、更に中尾八幡遺跡周辺の遺物の詳細分布調査や試掘調査、確認調査等を実施することによって、遺跡の範囲に内容が更に判明するのではないかとと思われる。



1 試掘調査前全景



2 試掘坑 1 掘削風景



3 試掘坑 1 完掘状況



4 試掘坑 1 北壁土層断面



5 試掘坑 1 の各層の深さの計測



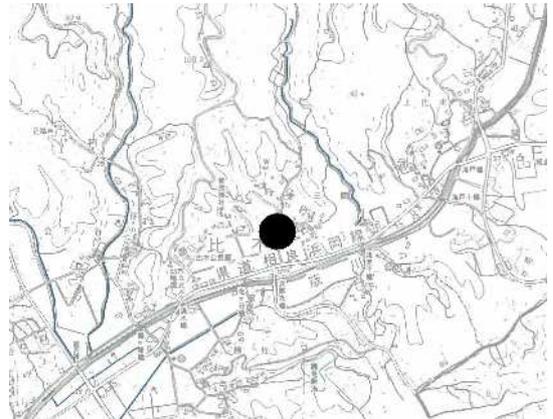
6 試掘坑 1 出土の土師器細片

写真 3 中尾八幡遺跡試掘調査写真

# 賀茂神社東遺跡近接地試掘調査報告書

所在地 御前崎市比木字清水 2764-3、  
2767-2

調査主体者 御前崎市教育委員会  
調査担当者 社会教育課 村本 薫  
調査面積 2㎡(試掘坑1箇所)  
確認調査期間 令和2年5月12日  
調査目的 個人住宅新築工事に伴う試掘調査



第4図 試掘調査の位置(1/25,000)

## (1) 調査に至る経緯

令和2年5月11日付けで栗山祐樹氏より、個人住宅新築工事建設予定地における埋蔵文化財包蔵地の所在の有無の照会があった。御前崎市遺跡地図で確認した結果、周知の埋蔵文化財包蔵地である賀茂神社東遺跡の近接地にあたることから、試掘調査が必要であるとの回答をした。

そして、同日付で埋蔵文化財試掘・確認調査依頼書と承諾書の提出があったため、令和2年5月12日付で文化財保護法第99条第1項の規定に基づく「発掘調査について」を御前崎市教育委員会教育長から静岡県知事宛てに提出するとともに、個人住宅建設予定地の近接地に1m×2mの試掘坑を1箇所設定して試掘調査を実施した。

## (2) 位置と環境

今回、近接地の試掘調査を実施した賀茂神社東遺跡(5)は、牧ノ原台地の南端を開析して南流し、沖積低地を形成しながら遠州灘に流れ出る箴川中流左岸に位置する賀茂神社の東側に位置する。

賀茂神社東遺跡(5)は、平成9年2月9日に水道工事が行われた際、平安時代から鎌倉時代の若干の遺物が出土して周知の埋蔵文化財包蔵地として登録された。その後、比木字三間 2766-2の水田から平成12年1月と平成14年4月に平安時代から鎌倉時代の遺物が採集されている。

また、上比木地区用水路改修工事に伴い平成26年10月8日から10月10日かけて実施した試掘調査では、比木字三間 2766-2の水田から古墳時代から平安時代の土師器や須恵器、鎌倉時代の山茶碗などが出土したことから、古墳時代や奈良時代の遺物散布地でもあることが新たに判明した。

本遺跡周辺には、縄文時代から戦国時代までの各時代の遺跡が多数存在している。縄文時代の遺跡は、箴川中流域の左岸の丘陵上に磨製石斧が出土している小堤谷遺跡(24)と半磨製石斧が出土している梶ヶ谷遺跡(32)が存在している。また、牧ノ原台地上の標高100m位の高地に位置する大陣原遺跡(1)では、古くから黒曜石製の剥片や石鏃などが採集されており、比木地区の縄文時代の遺跡として注目されてきた。この大陣原遺跡(1)では、弥生・奈良時代の土器も出土している。中田遺跡(13)も標高85mの高地に所在しており、箴川と新野川に挟まれた丘陵部の頂上付近に立地している。弥生時代後期末～古墳時代前期にかけての土器片を主体とし、13世紀頃の東遠江産の山茶碗も含まれている。

さらに弥生時代の低地の遺跡としては、箴川中流域右岸の谷底平野に位置する中田東ノ谷遺跡(11)、中田西ノ谷遺跡(12)や箴川中流域左岸の丘陵部の低位段丘面から低地にかけて立地している山田遺跡(23)が知られている。

山田遺跡(23)では、平成8年に実施した発掘調査では遺構が発見されていないが弥生土器や弥生時代

鎌倉時代の灰釉陶器や山茶碗が出土しており、長い期間にわたって集落が営まれたと考えられる。

古墳時代の遺跡としては、箴川流域の中小河川の開析によって形成された各支谷の南あるいは東側斜面に築かれた穴口(6)・實際寺(8)、宮木ヶ谷(9)、押越(10)・中田西ノ谷(14)、山田(25)、小堤谷西・東(26・27)、梶ヶ谷(33)などの古墳時代後期の各横穴群が存在する。

平安時代の遺跡としては、箴川中流域右岸の会下ノ谷遺跡(7)と賀茂神社東遺跡(5)が知られている。会下ノ谷遺跡(7)からは11世紀頃のものとして推定される灰釉広口瓶が出土している。本遺跡から平安時代の11世紀頃の灰釉陶器碗、12世紀の山茶碗、鎌倉時代の山茶碗の碗と小皿などが表面採集されている。

賀茂神社は、和銅元年(708年)に京都の上賀茂神社から勧請されたと伝えられている。寛治3年(1089年)に遠江国城東郡比木郷に相伝の私領をもっていた藤原朝臣がその地を京都の上賀茂神社に寄進したことが上賀茂神社に残されている古文書にかかれており、この時期の遺物が賀茂神社東遺跡(5)から採集されていることから、賀茂神社の成立を考える上での重要な遺跡であると思われる。なお、この賀茂神社北側の牧ノ原台地に登る途中の道の余地に賀茂神社北石塔群が所在しており、3点(塔身2、基礎1)の宝篋印塔の部材が積み置かれている。

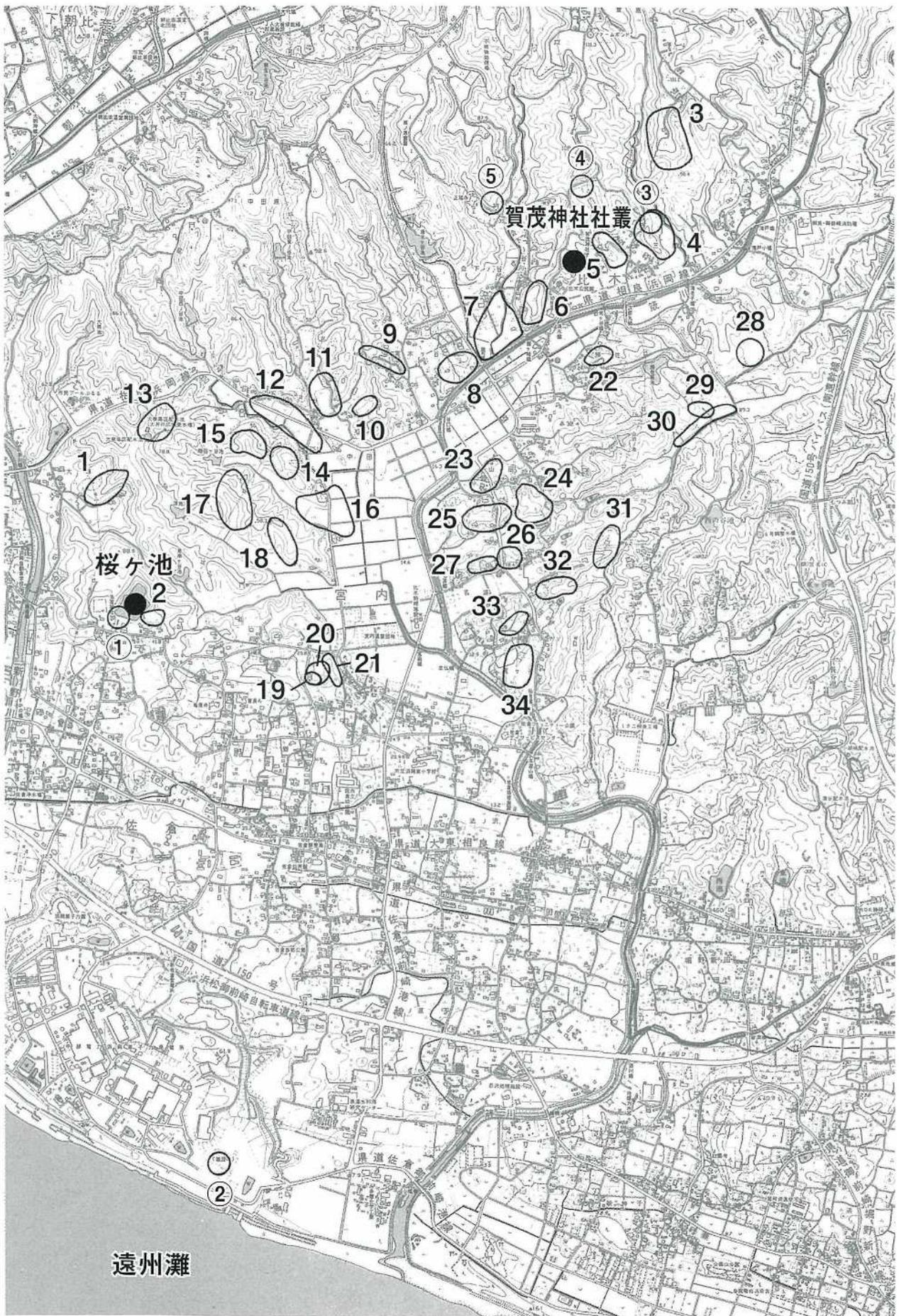
また、箴川右岸の御前崎市と牧之原市の境付近の牧ノ原台地上には、十三塚(28)や大陣原経塚(29)などが存在している。十三塚(28)については出土遺物がないが、大陣原経塚(29)からは、室町時代と推定される金銅製の六角宝幢形経筒が出土している。十三塚(28)と大陣原経塚(29)は、比較的近い位置にあり、この周辺一帯が中世の信仰活動を顕著に示す場所として注目される。

さらに、箴川の支流である会下ノ谷川中流域右岸に立地する比木地区の寺院である正福寺には、13点(笠7、基礎6)の宝篋印塔の部材が安置されている(正福寺石塔群)。その中に南北朝時代の北朝年号である「弥天高公禅定寺尼 至徳元年(1384年)六月十六日 死去」の銘のある宝篋印塔の基礎が1点残されていた(現在は御前崎市教育委員会で保管)。

中世の城館としては、比木城山遺跡(3)、比木殿ノ山城跡(4)、城ヶ峰城跡(31)が存在する。比木城山遺跡(3)は、箴川上流右岸の標高107mの丘陵上に立地している。丘陵の先端部に本曲輪があり、その北側に二の曲輪が接した連郭式丘城で、城域の範囲は南北240m、東西150mである。御前崎市に所在する城館では唯一発掘調査が行なわれており、平成11年度に実施した調査では、幅6~8m、南北延長84mの城域東端の細長い調査区から、堀切2条と塹堀1条、溝1条、集石土坑1基が検出されている。第1号堀切と塹堀状遺構は二の曲輪北側の調査区北端から検出された。さらに、本曲輪と二の曲輪の間から、幅8.1m、深さ4.9mの断面がV字状の薬研堀1条と、そのやや北側から幅4.6m、深さ1.4mを計る溝が検出された。2条の堀切はその形態や規模から戦国時代に構築されたと考えられるが、溝の延長先は二の曲輪に向いており、後で述べる居館跡の壕の可能性が推測される。

平成16年度の第2次発掘調査では、二の曲輪部分の調査が行なわれ、約12m×14mの調査区から、戦国時代に構築された倉庫などに使用したと思われる掘立柱建物跡3棟と、これらの建物と軸方向が異なる戦国時代より古い時期に構築されたと推測される大きな掘立柱建物跡が検出された。この大きな掘立柱建物跡は、室町以前の居館跡と推測される。

比木殿ノ山城跡(4)は、比木城山(3)の南側に位置し、箴川右岸の牧ノ原台地が舌状に延びた台地の尾根の先端部を利用した平山城である。比木城山(3)とは古道で通じており、丘陵の南端部を幅約5m、比高差20m以上の大きな堀で切断し、その南すぐ側には4段の平場を設け、その南側に、大きな郭を配し、城跡南端の小規模な郭との間を堀切で切断している。14世紀前葉の山茶碗の小皿が1点採集されている。この城跡の周辺には、「遍照寺」、「おおみどう」、「りょうもん」、「おかたやしき」、「うえやしき」等の中世の根小屋的關係の地名が残っている。「おかたやしき」からは13世紀後半頃の四耳壺が出土している。



第5図 箴川流域の遺跡分布図

第2表 箴川流域の遺跡分布図

通番	遺跡名	種別	地区	時代	備考	通番	遺跡名	種別	地区	時代	備考
1	大兼遺跡	墓地	宮内	古墳		18	深見東横穴群	横穴	宮内	古墳	1群2基
2	桜ヶ池横穴群	横穴	佐倉	古墳	1群2基	19	郷西横穴群	横穴	佐倉	古墳	1群2基
3	比木城山	城館	比木	鎌倉～戦国		20	郷古墳	古墳	佐倉	古墳	円墳1基
4	比木殿ノ山城跡	城館	比木	中世		21	郷東横穴群	横穴	佐倉	古墳	3基
5	賀茂神社東遺跡	散布地	比木	平安～鎌倉		22	勝佐墳墓群	墓地	比木	中世	
6	穴口横穴	横穴	比木	古墳	1基	23	山田遺跡	散布地	比木	縄文?・弥生～鎌倉	
7	会下ノ谷遺跡	散布地	比木	平安		24	小堤ヶ谷遺跡	散布地	比木	縄文	
8	実際寺横穴群	横穴	比木	古墳	基数不明	25	山田横穴群	横穴	比木	古墳	2群5基
9	宮木ヶ谷横穴群	横穴	比木	古墳	2群4基	26	小堤ヶ谷東横穴群	横穴	比木	古墳	1基
10	押越横穴群	横穴	比木	古墳	2群3基	27	小堤ヶ谷西横穴群	横穴	比木	古墳	1群5基
11	中田東ノ谷遺跡	散布地	比木	弥生		28	十三塚遺跡	塚	比木	中世	
12	中田西ノ谷遺跡	散布地	比木	弥生		29	大陣原経塚	経塚	比木	中世	経筒出土
13	中田遺跡	散布地	比木	弥生・古墳・鎌倉		30	大陣原遺跡	散布地	比木	縄文・弥生・奈良	
14	中田西ノ谷横穴群	横穴	比木	古墳	2群4基	31	城ヶ峰城跡	城館	比木	中世	
15	薩田ヶ谷横穴群	横穴	宮内	古墳	1群6基	32	梶ヶ谷遺跡	散布地	比木	縄文	
16	薩田ヶ谷口遺跡	散布地	宮内	奈良～鎌倉		33	梶ヶ谷横穴群	横穴	比木	古墳	4基
17	深見西横穴群	横穴	宮内	古墳	1群2基	34	中山遺跡	城館	比木	中世	

また、「遍照寺」からは、中世の宝篋印塔の相輪が2点出土している(遍照寺石塔群)。

城ヶ峰城跡(31)は、箴川左岸の、相良町との境近くの丘陵頂部に立地している。主郭の標高は 83.6m で、以前は城の南西方向に「城峰山清印寺」という寺があった。主郭に続く細尾根筋に5箇所堀錐が設けられている。城跡の南麓には、「きんぼんやしき」という地名が残っている。

### (3) 調査概要

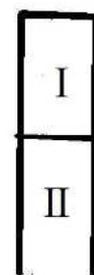
#### ① 調査方法

試掘調査は、令和2年5月12日に実施した。個人住宅建設予定地に近接した箇所にて試掘坑を1箇所設定して試掘調査を実施した。表土の掘削は主に重機(バックホー0.25級)を使用して実施した。

試掘坑の掘削作業終了後、壁面の精査を行ない、土層断面や完掘状況の写真撮影を実施した。

その後、壁の土層断面図を作成し、各試掘坑の試掘調査終了後、重機により埋め戻しを行った。

その後、試掘坑配置図を作成し、器材を撤収して試掘調査を終了した。



第6図

試掘坑柱状図(S-1/20)

#### ② 基本層序

- I 暗褐色土層 表土。固く締まりがあり、木根が少量混入
- II 黄褐色粘土層 10～20cm 大の円礫が多量に混入する。第三系の相良層群に想定される。

#### (4) まとめ

今回の試掘調査では、賀茂神社東遺跡の近接地(周知外)に計画された個人住宅新築工事周辺に試掘坑を1箇所設定して試掘調査を実施した。

その結果、遺構や出土遺物は皆無であった。このことから、賀茂神社東遺跡の東側については、埋蔵文化財包蔵地が周知外に広がっていないことが判明した。

しかし、今回試掘調査を実施した三間地区には、位置と環境でも述べたが、りょう門、うえやしき、おかたやしき等の根古屋的な地名が残っており、鎌倉時代(13世紀後半)と推定される四耳壺がおかたやしきから出土していることから、鎌倉時代の居館跡がこの周辺に存在している可能性も考えられる。

今後、今回試掘調査を実施した賀茂神社東遺跡をはじめ、三間地区全体の歴史を解明するためには、遺物の詳細分布調査や試掘調査、確認調査等を実施する必要があると思われる。



1 賀茂神社東遺跡試掘調査着手風景 1



2 重機による掘削作業

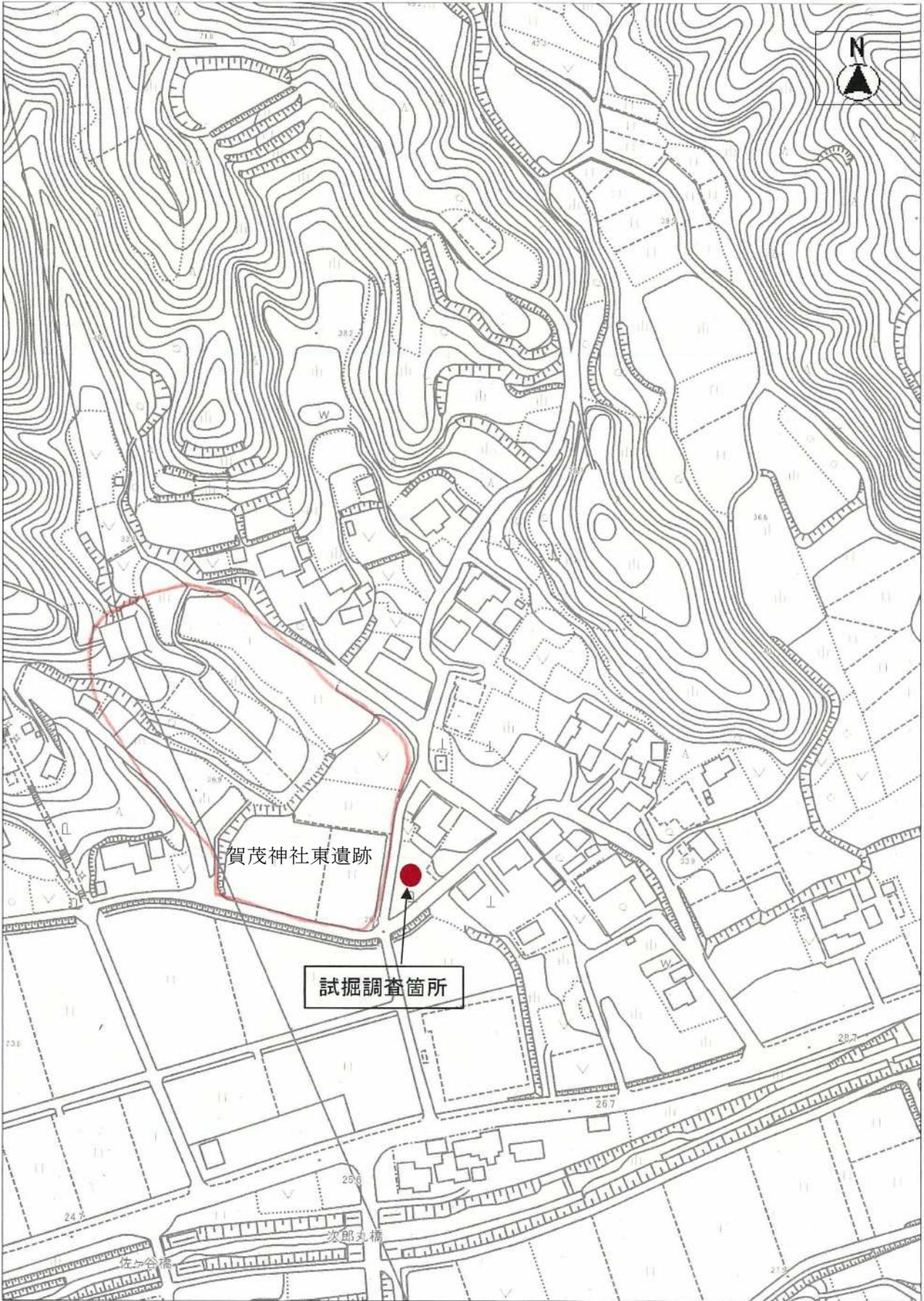


3 完掘状況・土層断面

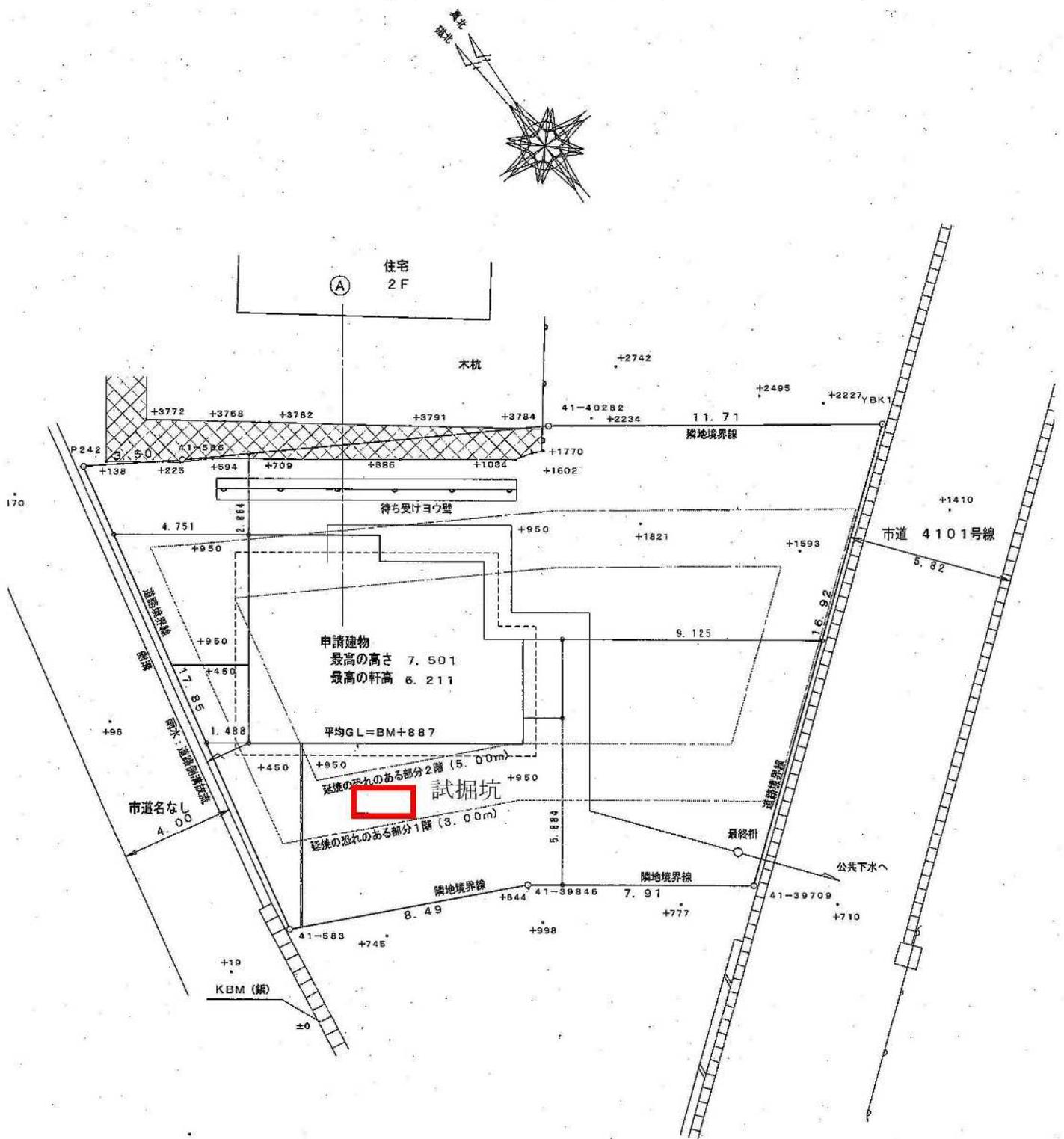


4 土層断面の計測

写真4 賀茂神社東遺跡近接地(周知外)の試掘調査写真1



第7図 賀茂神社東遺跡近接地(周知外)試掘調査位置図



第8図 賀茂神社東遺跡近接地(周知外)の試掘調査位置図(縮尺=1/200)

#### 4 出土遺物整理事業

市内遺跡の整理作業は、令和2年度に試掘調査を実施した中尾八幡遺跡試掘調査の図面類と遺物の整理作業及び、賀茂神社東遺跡近接地試掘調査、新野川南遺跡試掘調査、城ヶ峰城跡試掘調査の図面類の整理作業などを実施した。

## II 文化財保護・管理

### 1 国指定天然記念物『御前崎のウミガメ及びその産卵地』保護事業

#### (1) 調査報告

##### ① ウミガメ上陸・産卵地

御前崎海岸には、昔から主にアカウミガメが上陸し、産卵をしている。世界的にも希少動物となったアカウミガメを保護するため、昭和55年3月6日に「御前崎のウミガメ及びその産卵地」が国指定天然記念物に指定された。

産卵地としての指定区域は、下岬海岸及びキンスから東松沢川までの約1.9kmの海岸部であり、御前崎海岸の全体というわけではなく、第1区の一部と、第2区、第3区が指定地内となり、第4区、第5区は指定地外である。特に、第2区、第3区、第4区、第5区は、護岸堤の設置や高波による海岸の砂の流出により、産卵場所が減少している。第1区に関しては、砂の堆積がみられるなど産卵場所の確保は他区に比べよいが、砂を掘ると水が湧く等、産卵適地であるとはいえない。御前崎地区、浜岡地区の海岸についてもアカウミガメの上陸・産卵が確認されているが、今年度も、上陸の痕跡のみで、産卵には至っていないケースが多くみられた。

令和2年度においては、アカウミガメの上陸頭数は昨年と同じ、産卵個数・ふ化頭数は昨年よりも増加したが、ふ化率は昨年よりも下回ってしまった。

ウミガメの上陸頭数や産卵個数の増減の原因はアカウミガメの生態が解明されていない現時点では、明確な回答が出ない状態である。ウミガメの産卵周期にかかわる現象であれば、再度増加に転ずることも考えられるため、その推移を見守るとともに、産卵場所となる海岸の保全に努めたい。

##### ② 巡視区域と保護監視員

教育委員会から委嘱された8名(御前崎海岸4名・浜岡海岸4名)の保護監視員が担当区域を巡視して、上陸・産卵頭数等の確認調査等を実施した。

第1区	マリンパーク	から	元	根	(横山 俊明)
第2区	元	根	から	芹	沢 (大澤 茂美)
第3区	芹	沢	から	東松沢川	(大澤 茂美)
第4区	東松沢川	から	尾	高	(澤部 春市)
第5区	尾	高	から	箆川	(高田 正義)
浜1区	新野川	から	本町・中町の境		(渡辺 元治)
浜2区	本町・中町の境	から	七つ山・塩原の境		(早馬 彰夫)
浜3区	七つ山・塩原の境	から	塩原・合戸の境		(増田 均)
浜4区	塩原・合戸の境	から	合戸・掛川市の境		(良知 正美)

##### ③ 保護監視員の任務

- ・産卵シーズンの毎朝、各自担当する区域の巡視
- ・ふ化開始からふ化終了までのふ化場巡視

- ・ウミガメに関する注意、呼びかけ
- ・上陸頭数、産卵頭数、産卵個数、ふ化頭数の確認調査
- ・卵及び子ガメの安全管理（ふ化場への移動）
- ・子ガメのふ化管理と放流
- ・海岸に漂着したウミガメの死骸処理及び供養

#### ④ 令和2年度ウミガメ保護監視員及び事務局の主な活動記録

（全体活動）

- ・ウミガメ保護監視員による早朝、夜間巡視（5月15日開始）
- ・ふ化巡視（7月15日開始）

<4月>

27日 ふ化場天地返し

<5月>

7日 ウミガメ保護監視員会議（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

7日 子亀供養祭

15日 ウミガメ保護活動開始

27日 アカウミガメ初上陸・初産卵【5/27 海藻場 103個】

<7月>

9日 子ガメ放流会（御前崎小学校行事）

ウミガメ産卵観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

<8月>

14日 ウミガメ初ふ化【6/5 アカガネ 産卵分34頭】

団体子ガメ放流観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

一般子ガメ放流観察会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

<9月>

16日 子ガメ受け入れ式（御前崎小学校）

<11月>

2日 アカウミガメふ化場卵掘り起こし

5日 亀バックホーム大作戦（御前崎中学校行事）

<3月>

視察研修（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

#### ⑤ 上陸・産卵・ふ化状況

令和2年度における御前崎市のアカウミガメ上陸・産卵・ふ化状況については、集計表を掲載する。



1 R2.5.7 子亀供養祭



2 R2.5.27 初産卵採捕 103個



3 R2.6.16 市の広報誌掲載



4 R2.7.9 御前崎小学校ウミガメ放流 1



5 R2.7.9 御前崎小学校ウミガメ放流 2



6 R2.8.14 ウミガメ初ふ化 34頭

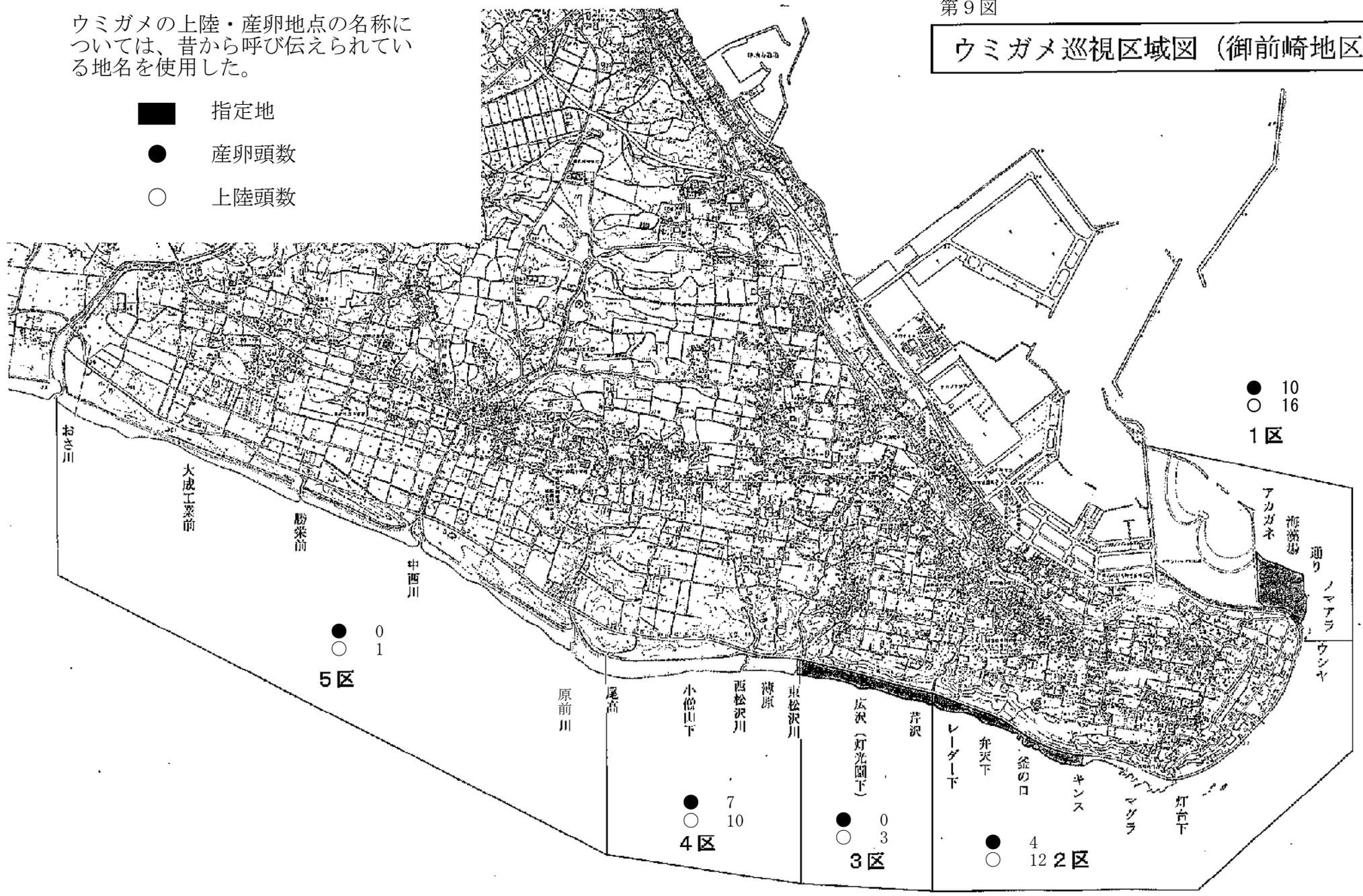
写真5 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子 1

第9図

ウミガメ巡視区域図 (御前崎地区)

ウミガメの上陸・産卵地点の名称については、昔から呼び伝えられている地名を使用した。

- 指定地
- 産卵頭数
- 上陸頭数



第3表

令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27	1	1	103												1	1	103	
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	1	1	103												1	1	103	
総計	1	1	103												1	1	103	

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第4表

令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3	1														1			
4																		
5	1	1	117												1	1	117	
6																		
7																		
8	1	1	147												1	1	147	
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15	1														1			
16																		
17									1	1	101				1	1	101	
18																		
19																		
20																		
21																		
22																		
23																		
24																		
25																		
26									1						1			
27																		
28																		
29	1	1	163												1	1	163	
30																		
月計	5	3	427						2	1	101				7	4	528	
総計	6	4	530						2	1	101				8	5	631	

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第5表

令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1																		
2																		
3																		
4																		
5	1															1		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16													1			1		
17																		
18									2	1	45					2	1	45
19																		
20	1	1	153													1	1	153
21																		
22	1															1		
23	1															1		
24	3	2	300						1	1	145					4	3	445
25				1	1	109										1	1	109
26																		
27																		
28									2	1	120					2	1	120
29	1	1	94													1	1	94
30																		
31																		
月計	8	4	547	1	1	109			5	3	310	1			15	8	966	
総計	14	8	1,077	1	1	109			7	4	411	1			23	13	1,597	

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第6表  
令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(御前崎)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			5区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1				1												1		
2	1	1	94													1	1	94
3																		
4																		
5	1	1	153													1	1	153
6				1												1		
7																		
8									1	1	99					1	1	99
9							1									1		
10				1												1		
11									1	1	88					1	1	88
12				1												1		
13							2									2		
14									1	1	104					1	1	104
15																		
16				1												1		
17				1	1	133										1	1	133
18																		
19				1	1	112										1	1	112
20				2												2		
21				2	1	113										2	1	113
22																		
23																		
24																		
25																		
26																		
27																		
28																		
29																		
30																		
31																		
月計	2	2	247	11	3	358	3			3	3	291				19	8	896
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
総計	16	10	1,324	12	4	467	3			10	7	702	1			42	21	2,493

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第7表 令和2年度 アカウミガメふ化状況集計表 (御前崎)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	5月27日	海藻場	103						第1区:
				計	0	0		0.00%	
2	6月5日	アカガネ	117	8月14日	34		70	79.48%	第1区:朝 第1区:朝
				8月15日	59		71		
				計	93	0			
3	6月8日	海藻場	147	8月19日	3	1	72	33.33%	第1区:夜 第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				8月21日	39		74		
				8月22日	1		75		
				8月23日	5		76		
				8月25日	1		78		
				計	49	1			
4	6月17日	小僧山	101	8月27日	31		71	31.68%	第4区:朝 第4区:朝
				9月4日	1		79		
				計	32	0			
5	6月29日	マリンパーク	163	8月31日	88		63	55.21%	第1区:朝 第1区:夜
				9月8日	2		71		
				計	90	0			
6	7月18日	小僧山	45	9月6日	1		50	11.11%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				9月7日	3		51		
				9月8日	1				
				計	5	0			
7	7月20日	マリンパーク	153	9月10日	120		52	79.73%	第1区:夜 第1区:朝
				9月16日	2		58		
				計	122	0			
8	7月24日	海藻場	144	9月11日	69		49	50.69%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				9月14日	1		52		
				9月16日	3		54		
				計	73	0			
9	7月24日	海藻場	156	9月12日	141		50	90.38%	第1区:夜
10	7月24日	小僧山	145	9月17日	12		55	8.27%	第4区:朝
11	7月25日	ドーム下	109	計	12	0		0.00%	第2区:
12	7月28日	小僧山	120	9月15日	20		49	25.83%	第4区:夜 第4区:朝 第4区:朝
				9月16日	10		50		
				9月17日	1		51		
				計	31	0			
13	7月29日	海藻場	94	計	0	0		0.00%	第1区:
14	8月2日	通り	94	計	0	0		0.00%	第1区:
15	8月5日	通り	153	9月27日	68		53	46.40%	第1区:朝 第1区:朝 第1区:朝
				9月28日	2		54		
				9月30日	1		56		
				計	71	0			
16	8月8日	小僧山	99	10月1日	8		54	18.18%	第4区:夜 第4区:夜 第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				10月2日	2	1	55		
				10月3日	2		56		
				10月4日	5		57		
				10月5日	1		58		
				計	18	1			
17	8月11日	小僧山	88	10月5日	8		55	15.90%	第4区:朝 第4区:朝 第4区:朝
				10月8日	5		58		
				10月16日	1		66		
				計	14	0			
18	8月14日	小僧山	104	10月16日	2		63	3.84%	第4区:夜 第4区:夜 第4区:朝
				10月18日	1		65		
				10月31日	1		78		
19	8月17日	灯台下	133	10月31日	2		75	1.50%	第2区:夜
20	8月19日	灯台下	112	計	2	0		0.00%	第2区:
21	8月21日	灯台下	113	計	0	0		0.00%	第2区:
※					10				
合計			2,493		767	2	61.16	30.77%	
平均									

放流頭数(御小20匹除く)	745
0%巣を除いたふ化率	41.06%

最大ふ化率	90.38%
最小ふ化率	1.50%

※11/2実施のふ化場掘り起しの際に、10匹発見。放流した。ただし、どの巣穴からふ化したかは不明。

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	1	4.76%	156	6.26%
80%以上90%未満	0	0.00%	0	0.00%
70%以上80%未満	2	9.52%	270	10.83%
60%以上70%未満	0	0.00%	0	0.00%
50%以上60%未満	2	9.52%	307	12.31%
40%以上50%未満	1	4.76%	153	6.14%
30%以上40%未満	2	9.52%	248	9.95%
20%以上30%未満	1	4.76%	120	4.81%
10%以上20%未満	3	14.29%	232	9.31%
1%以上10%未満	3	14.29%	382	15.32%
0%	6	28.57%	625	25.07%
計	21	99.99%	2,493	100.00%

区名	巢数
第1区	10
第2区	4
第3区	0
第4区	7
第5区	0
計	21

第8表

令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(5月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
月計															
総計															

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第9表

令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(6月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3									1	1	126		1	1	126
4									1				1		
5															
6															
7															
8															
9															
10									1				1		
11															
12															
13	1												1		
14															
15															
16				1	1	126							1	1	126
17															
18															
19															
20															
21	1	1	80										1	1	80
22															
23															
24															
25															
26															
27							1		1				2		
28															
29									1	1	121		1	1	121
30															
月計	2	1	80	1	1	126	1		5	2	247		9	4	453
総計	2	1	80	1	1	126	1		5	2	247		9	4	453

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第10表

## 令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(7月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3									1				1		
4															
5									1	1	116		1	1	116
6															
7															
8	1								1	1	151		2	1	151
9															
10									1	1	127		1	1	127
11															
12															
13									1	1	131		1	1	131
14	1												1		
15															
16	1	1	109										1	1	109
17				2	1	147							2	1	147
18															
19															
20															
21	1	1	133										1	1	133
22	2												2		
23						1			1				2		
24															
25															
26															
27									1				1		
28									1				1		
29				1									1		
30															
31				1	1	136							1	1	136
月計	6	2	242	4	2	283	1		8	4	525		19	8	1,050
総計	8	3	322	5	3	409	2		13	6	772		28	12	1,503

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

令和2年度アカウミガメ上陸・産卵/日・月別集計表(浜岡)

(8月分・9月分)

区 日	1区			2区			3区			4区			合計		
	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上	産	卵	上陸	産卵	産卵個数
1															
2															
3															
4															
5															
6							1	1	143				1	1	143
7	1									1			2		
8				1	1	144							1	1	144
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16	1												1		
17	1			1									2		
18							1						1		
19															
20															
21															
22															
23															
24	1												1		
25															
26	1												1		
27															
28															
29							2						2		
30															
31															
月計	5			2	1	144	4	1	143	1			12	2	287
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
月計															
総計	13	3	322	7	4	553	6	1	143	14	6	772	40	14	1,790

\*表中で、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{上及び上陸は、上陸した親亀頭数} \\ \text{産及び産卵は、上陸した親亀で産卵した頭数} \\ \text{卵及び産卵個数は、産卵した卵の個数} \end{array} \right\}$  を示す。

第12表 令和2年度 アカウミガメふ化状況集計表 (浜岡)

No.	産卵月日	産卵場所	産卵個数	ふ化月日	ふ化頭数	死亡頭数	ふ化日数	ふ化率	備考
1	6月3日	合戸	126	8月15日	10		73	48.41%	第4区:夜
				8月17日	30		75		第4区:朝
				8月17日	1		75		第4区:夜
				8月18日	17		76		第4区:朝
				8月18日	3		76		第4区:夜
				計	61	0			
2	6月16日	浜岡砂丘西	126	8月23日	38		68	60.31%	第2区:朝
				8月24日	10		69		第2区:朝
				8月25日	18		70		第2区:朝
				8月27日	1		72		第2区:朝
				8月28日	6		73		第2区:朝
				8月29日	2		74		第2区:朝
				8月30日	1		75		第2区:朝
				計	76	0			
3	6月21日	新野川東側	80	8月25日	1		65	26.25%	第1区:朝
				8月25日	8		65		第1区:夜
				8月30日	11		70		第1区:朝
				9月4日	1		75		第1区:朝
				計	21	0			
4	6月29日	塩原	121	計	0	0	0.00%	第4区:	
5	7月5日	塩原	116	計	0	0	0.00%	第4区:	
6	7月8日	塩原	151	9月3日	75		57	51.65%	第4区:朝
				9月3日	1		57		第4区:夜
				9月7日	1		61		第4区:夜
				9月23日	1		77		第4区:夜
				計	78	0			
7	7月10日	合戸	127	9月3日	1		55	1.57%	第4区:朝
				9月5日	1		57		第4区:朝
				計	2	0			
8	7月13日	合戸	131	9月5日	116	1	54	88.54%	第4区:朝
9	7月16日	東町	109	9月13日	12		59	11.00%	第1区:朝
				計	12	0			
10	7月17日	砂丘	147	計	0	0		0.00%	第2区:
				計	0	0			
11	7月21日	東町	133	計	0	0		0.00%	第1区:
				計	0	0			
				計	0	0			
12	7月31日	砂丘	136	9月21日	51		52	38.97%	第2区:朝
				9月21日	1		52		第2区:夜
				9月26日	1	1	57		第2区:夜
				計	53	1			
13	8月6日	七ツ山	143	計	0	0		0.00%	第4区:
				計	0	0			
14	8月8日	砂丘	144	計	0	0		0.00%	第2区:
				計	0	0			
合計			1,790		419	1	66.26	23.40%	
平均									

放流頭数	418
0%巢を除いたふ化率	23.41%

最大ふ化率	88.54%
最小ふ化率	1.57%

ふ化率	巢数	比率	卵数	比率
90%以上	0	0.00%	0	0.00%
80%以上90%未満	1	7.14%	131	7.32%
70%以上80%未満	0	0.00%	0	0.00%
60%以上70%未満	1	7.14%	126	7.04%
50%以上60%未満	1	7.14%	151	8.44%
40%以上50%未満	1	7.14%	126	7.04%
30%以上40%未満	1	7.14%	136	7.60%
20%以上30%未満	1	7.14%	80	4.47%
10%以上20%未満	1	7.14%	109	6.09%
1%以上10%未満	1	7.14%	127	7.09%
0%	6	42.86%	804	44.92%
計	14	99.98%	1,790	100.01%

区名	巢数
第1区	3
第2区	4
第3区	0
第4区	7
計	14

第13表

令和2年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
5月1日											
5月2日											
5月3日											
5月4日											
5月5日											
5月6日											
5月7日											
5月8日											
5月9日											
5月10日											
5月11日											
5月12日											
5月13日											
5月14日											
5月15日											
5月16日											
5月17日											
5月18日											
5月19日											
5月20日											
5月21日											
5月22日											
5月23日											
5月24日											
5月25日											
5月26日											
5月27日											
5月28日	25.9	24.8	25.2	25.3					18.4	22.7	25.0
5月29日	24.5	24.4	25.2	25.1					18.9	20.4	24.7
5月30日	24.8	24.6	25.5	25.4					18.4	19.1	25.0
5月31日	25.0	24.6	24.6	25.4					18.9	19.3	25.2
平均	25.1	24.6	25.1	25.3					18.7	20.4	25.0

初産卵

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第14表  
令和2年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
6月1日	22.9	23.1	23.6	23.6					18.5	18.7	23.2
6月2日	22.2	22.3	22.7	22.8					19.3	20.1	22.3
6月3日	23.5	23.5	24.0	24.1					20.9	21.7	23.8
6月4日	24.4	24.4	24.6	24.7					21.1	22.9	24.6
6月5日	24.7	24.7	25.0	25.4					19.4	22.8	24.9
6月6日	25.4	25.6	25.9	26.0					22.2	24.9	25.8
6月7日	25.0	25.0	25.3	25.5					21.7	23.4	25.1
6月8日	25.5	25.4	25.8	26.0					20.9	23.7	25.5
6月9日	25.9	25.7	26.3	26.3					21.3	25.1	26.0
6月10日	25.9	26.1	26.7	26.8					21.9	25.2	26.2
6月11日	25.2	25.4	25.4	26.0					23.8	23.6	25.3
6月12日	24.6	24.7	25.1	25.2					22.9	23.4	24.7
6月13日	25.0	25.0	25.3	25.4					23.7	23.9	25.1
6月14日	24.7	24.7	25.0	25.1					23.7	23.6	24.8
6月15日	24.8	24.9	25.2	25.3					24.3	23.8	25.0
6月16日	25.4	25.6	26.0	25.1					22.9	23.0	25.9
6月17日	25.3	25.6	25.8	25.9					20.6	22.7	25.7
6月18日	25.9	25.9	26.3	26.5					22.3	25.1	26.3
6月19日	24.8	24.7	25.2	25.4					18.4	20.3	24.7
6月20日	22.8	22.9	23.1	23.3					19.1	19.3	22.8
6月21日	24.0	23.9	24.3	24.4					20.7	20.7	24.2
6月22日	25.0	24.8	25.1	25.2					21.3	23.6	25.1
6月23日	23.7	23.7	24.0	24.2					21.2	22.3	23.8
6月24日	25.0	24.6	24.8	25.1					22.3	23.5	24.8
6月25日	25.8	25.8	26.1	26.3					22.1	23.1	25.9
6月26日	25.3	25.3	25.4	25.6					24.1	24.4	25.4
6月27日	25.1	25.1	25.2	25.3					24.4	24.2	25.2
6月28日	26.2	26.2	26.3	26.4					23.3	24.9	26.3
6月29日	25.0	25.0	25.2	25.3					22.3	22.2	25.1
6月30日	26.3	26.1	26.2	26.5					22.6	24.5	26.5
平均	24.8	24.9	25.2	25.3					21.8	23.0	25.0

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第15表

令和2年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
7月1日	25.4	25.4	25.6	25.7					24.5	24.3	25.5
7月2日	24.7	24.8	24.8	25.0					21.0	21.2	24.8
7月3日	25.9	25.0	26.0	26.2					22.6	23.9	26.2
7月4日	24.4	24.7	24.7	24.8					24.1	21.6	24.5
7月5日	24.5	24.6	24.6	24.7					23.4	23.3	24.6
7月6日	計測器故障により記録なし										
7月7日											
7月8日											
7月9日											
7月10日											
7月11日											
7月12日											
7月13日											
7月14日	22.1	22.4	22.4	22.5					22.1	21.2	22.2
7月15日	22.8	22.9	23.0	22.9					22.1	22.4	22.9
7月16日	22.9	23.1	23.1	23.2					22.2	21.0	23.1
7月17日	25.7	25.7	25.8	25.8					22.4	22.5	26.1
7月18日	24.2	24.3	24.3	24.4					21.7	22.1	24.0
7月19日	24.1	24.0	24.0	24.1					23.1	22.9	24.2
7月20日	26.2	26.1	26.2	26.0					24.2	25.1	26.4
7月21日	27.0	26.8	26.9	27.1					24.7	24.7	27.3
7月22日	27.5	26.9	27.1	27.4					25.7	26.6	27.2
7月23日	28.0	28.1	28.0	28.0					25.6	24.9	28.2
7月24日	27.9	27.8	27.7	27.9					25.2	26.2	27.9
7月25日	27.6	27.5	27.6	27.7					24.1	25.3	27.7
7月26日	26.9	27.1	27.3	27.4					25.6	25.5	27.4
7月27日	27.5	27.6	27.8	27.8					24.0	24.7	27.8
7月28日	27.1	27.2	27.3	27.4					26.0	26.1	27.2
7月29日	27.6	27.6	27.8	27.9					26.1	26.6	27.9
7月30日	27.6	27.7	27.8	27.9					23.2	25.1	27.9
7月31日	26.6	26.7	26.7	26.7					24.1	24.4	26.5
平均	25.8	25.8	25.9	26.0					23.8	24.0	26.0

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第16表

令和2年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
8月1日	28.1	27.7	27.9	27.9					25.3	27.1	28.1
8月2日	29.2	29.3	29.6	29.8					25.8	25.5	29.6
8月3日	29.0	29.1	29.3	29.6					25.2	29.1	29.5
8月4日	29.6	29.6	30.0	30.1					26.3	29.7	30.0
8月5日	30.2	30.2	30.6	30.6					25.5	29.4	30.6
8月6日	30.4	30.7	31.0	31.1					25.8	29.6	30.6
8月7日	31.1	31.4	32.0	32.0					27.6	29.3	31.6
8月8日	31.0	31.4	31.9	31.9					26.5	26.5	31.5
8月9日	30.7	30.9	31.4	31.4					27.4	30.3	30.9
8月10日	31.3	33.1	31.9	31.9					27.7	29.0	31.8
8月11日	30.9	31.4	31.7	31.7					27.8	30.9	31.3
8月12日	31.7	32.3	32.6	32.4					28.8	29.7	31.6
8月13日	31.8	32.4	33.0	32.9					27.4	27.2	32.3
8月14日	31.4	31.7	32.3	32.3					26.8	30.9	31.5
8月15日	32.3	32.8	33.6	33.6					27.9	28.6	32.7
8月16日	32.1	32.6	33.2	33.1					28.6	28.5	32.3
8月17日	31.8	32.3	32.9	32.9					27.8	32.0	32.2
8月18日	32.5	33.2	33.8	33.8					29.3	29.4	33.0
8月19日	32.6	32.6	32.9	33.1					27.9	28.9	32.2
8月20日	31.7	32.2	32.8	32.7					28.8	28.8	32.1
8月21日	32.5	33.2	33.8	33.4					29.0	29.0	33.0
8月22日	32.8	33.4	33.6	33.4					27.8	29.0	32.8
8月23日	32.1	32.0	32.0	30.2					25.5	25.3	31.6
8月24日	30.5	31.1	31.5	31.5					26.1	24.6	30.7
8月25日	31.4	31.6	31.9	32.1					26.3	28.1	31.6
8月26日	31.9	32.0	32.2	32.6					27.7	27.6	32.1
8月27日	32.2	32.3	32.2	32.6					27.5	28.5	32.1
8月28日	27.5	28.1	28.1	28.1					26.2	26.2	28.3
8月29日	29.7	30.3	30.0	30.5					26.5	25.6	29.7
8月30日	30.7	31.1	31.1	31.3					27.1	27.7	30.8
8月31日	31.3	30.8	30.4	31.5					27.9	28.0	31.1
平均	31.0	31.4	31.7	31.7					27.2	28.4	31.3

初ふ化

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

第17表  
令和2年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
9月1日	31.4	31.8	31.6	31.8					27.3	27.1	31.3
9月2日	30.8	31.3	31.3	31.5					27.6	27.8	30.8
9月3日	30.2	30.4	30.4	30.7					27.9	27.5	29.8
9月4日	28.9	29.7	29.8	29.9					25.4	26.1	29.4
9月5日	26.1	26.0	26.0	26.3					26.2	25.5	26.5
9月6日	27.5	27.9	28.7	26.9					26.4	26.3	28.1
9月7日	28.6	28.9	28.5	28.6					26.7	26.9	28.7
9月8日	29.1	29.5	29.2	29.5					28.3	27.5	28.2
9月9日	29.4	29.7	29.6	29.7					25.1	25.8	29.5
9月10日	29.5	29.4	29.5	29.7					25.4	25.0	29.8
9月11日	27.6	28.6	28.7	28.7					24.8	24.0	29.2
9月12日	27.0	27.5	26.3	27.1					26.3	25.6	27.2
9月13日	28.2	28.6	28.0	28.4					26.8	25.6	28.3
9月14日	27.5	27.7	27.6	27.4					24.5	24.1	26.8
9月15日	28.2	28.2	28.1	28.3					27.0	28.7	28.2
9月16日	27.3	27.4	27.3	27.6					23.4	22.6	27.4
9月17日	26.3	26.6	26.6	26.3					24.0	24.1	26.7
9月18日	28.0	27.8	27.8	28.1					27.2	26.5	28.2
9月19日	25.9	26.1	26.0	26.0					25.0	24.5	26.4
9月20日	27.9	28.3	28.0	27.9					23.0	23.2	28.0
9月21日	23.9	24.2	23.3	24.6					22.2	21.9	25.2
9月22日	25.2	25.3	25.2	25.4					24.4	23.9	25.6
9月23日	24.9	24.6	25.0	25.2					23.2	21.6	25.1
9月24日	24.0	23.8	24.0	23.8					24.6	23.5	23.5
9月25日	25.7	25.4	25.4	25.6					24.7	23.8	25.8
9月26日	23.9	23.8	23.5	23.9					23.0	22.8	23.6
9月27日	24.3	24.3	24.2	24.6					22.2	21.3	24.6
9月28日	22.6	22.2	22.4	22.2					21.4	21.4	22.1
9月29日	25.4	24.8	24.1	24.0					22.9	22.1	25.3
9月30日	25.0	24.8	24.6	24.9					19.4	20.2	25.0
平均	27.0	27.2	27.0	27.2					24.9	24.6	27.1

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

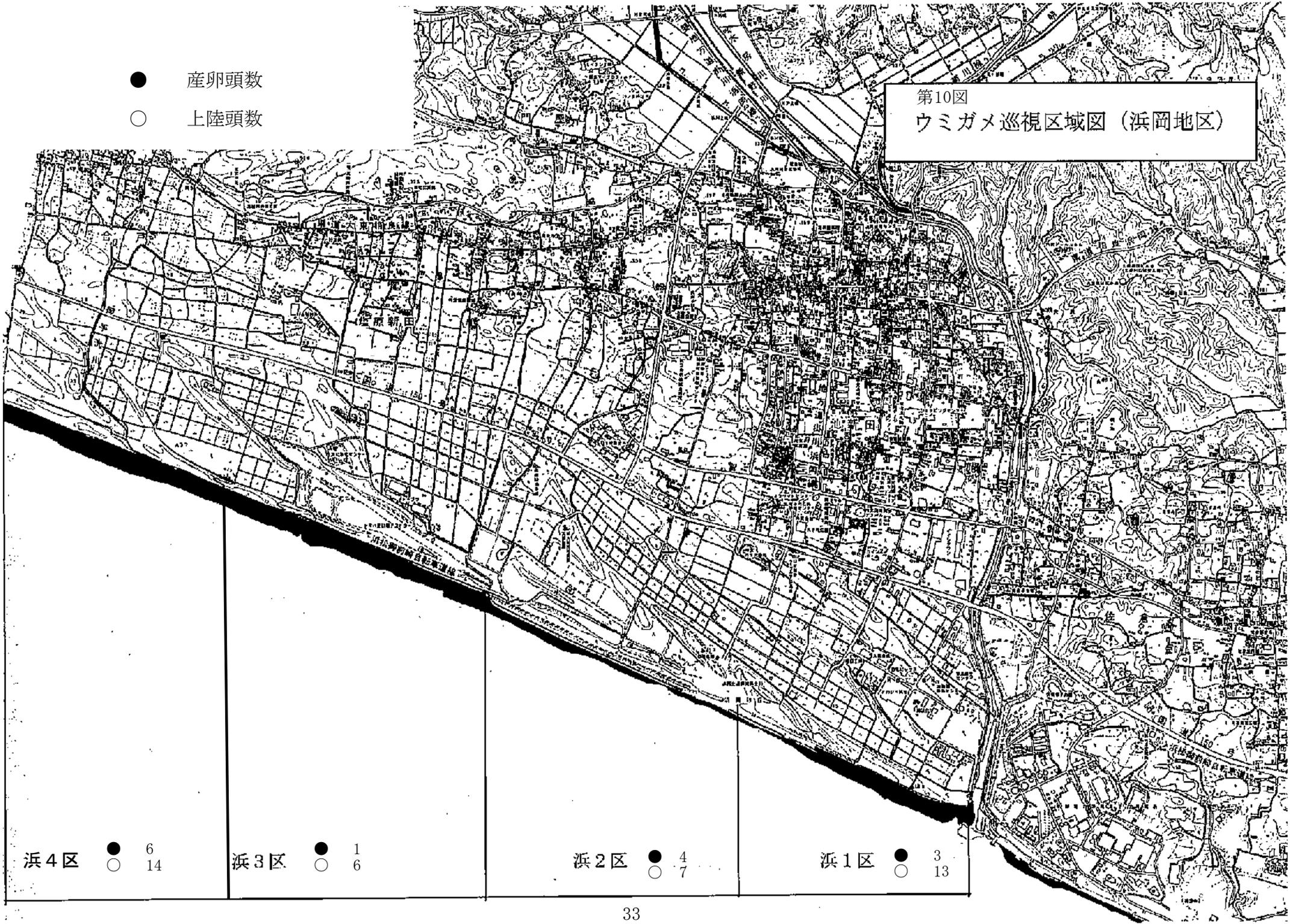
第18表  
令和2年度 地温計測状況(第1ふ化場)

月・日	1	2	3	4	5	6	7	8	気温	表面	中央
10月1日	25.1	25.2	25.2	25.1					21.8	21.6	25.1
10月2日	25.3	25.2	24.9	25.2					27.9	22.5	25.4
10月3日	25.0	24.2	24.8	24.2					23.5	23.0	25.0
10月4日	26.2	25.9	25.6	26.2					23.2	23.8	26.2
10月5日	25.5	25.2	24.7	25.3					23.3	23.0	25.0
10月6日	25.3	25.0	24.9	25.5					23.5	21.9	25.3
10月7日	25.9	25.9	25.8	26.0					21.5	23.0	25.9
10月8日	22.2	21.0	21.5	22.7					18.5	17.5	22.7
10月9日	18.1	21.3	21.4	21.4					18.7	19.0	18.6
10月10日	19.2	19.2	19.3	19.4					19.1	19.2	19.3
10月11日	20.3	20.3	20.4	20.7					20.9	19.0	20.4
10月12日	22.5	22.2	21.5	22.0					21.8	20.5	22.7
10月13日	24.0	23.2	22.5	22.1					23.1	22.3	23.5
10月14日	24.6	24.1	23.7	24.1					22.9	23.7	24.5
10月15日	24.2	23.7	23.5	24.1					21.2	20.8	24.1
10月16日	24.0	23.5	23.5	23.9					19.2	21.1	24.0
10月17日	20.7	20.4	20.2	21.0					17.5	18.6	20.5
10月18日	21.5	20.7	20.5	20.9					15.5	16.3	21.1
10月19日	17.9	17.2	18.0	18.6					17.6	17.0	18.1
10月20日	24.0	23.1	23.4	23.8					17.7	17.0	24.0
10月21日	20.3	19.9	19.9	20.3					18.1	16.2	20.2
10月22日	20.6	20.2	20.1	20.5					17.8	18.4	20.3
10月23日	21.9	21.7	21.3	21.6					21.2	21.0	21.7
10月24日	15.3	15.0	14.9	15.0					12.0	12.4	15.0
10月25日	19.8	19.1	19.0	19.0					16.4	17.2	19.4
10月26日	15.7	15.9	15.2	15.6					12.4	12.0	15.1
10月27日	19.1	19.3	18.9	18.7					12.9	12.2	18.0
10月28日	20.4	19.7	19.8	20.2					15.9	16.8	20.1
10月29日	20.3	19.6	19.5	19.8					17.1	17.0	19.7
10月30日	20.0	19.2	19.4	19.9					16.5	16.2	19.4
10月31日	20.2	19.6	19.5	20.0					16.7	16.3	19.5
平均	21.8	21.5	21.4	21.7					19.2	18.9	21.6

※測定時間は、午前5時30分から午前6時30分の間に計測。測定の高さは、45cm。

● 産卵頭数  
○ 上陸頭数

第10図  
ウミガメ巡視区域図 (浜岡地区)





1 R2.9.16 御前崎小学校子ガメ引渡し式 1



2 R2.9.16 御前崎小学校子ガメ引渡し式 2



3 飼育小屋入居



4 R2.11.2 ふ化場掘り起し



5 R2.11.5 カメバックホーム大作戦 1



6 R2.11.5 カメバックホーム大作戦 2

写真6 御前崎のウミガメ及びその産卵地保護事業の様子2

## 4 「御前崎のウミガメ及びその産卵地」の現状変更

### (1) 御前崎小学校短期育成アカウミガメ(子ガメ)への標識の装着

現状変更箇所の地番 御前崎市立御前崎小学校  
許可申請者の名称 個人  
現状変更箇所の所在地 御前崎市御前崎 3556 番地  
着手及び終了の時期 令和2年7月3日から  
令和2年7月8日



第11図 御前崎小学校位置図(1/25,000)

#### ① 現状変更等の内容等及び実施の方法

##### A 目的

アカウミガメは広大な海洋で生活している動物である。近年の科学技術の進歩により生活史は少しずつ解明されてきているが、彼らの海洋での生活は未知な部分が多く、解明されていないことが多くある。静岡県御前崎市から愛知県田原市に広がる遠州灘はアカウミガメの大きな繁殖場の一つで、アカウミガメの産卵生態に関する知見は増えてきているが、ふ化幼体や亜生体に関する知見は非常に少ない。アカウミガメを保全していくためには、生物学的特性を知る必要がある。本現状変更は、アカウミガメの保全に関する基礎的研究のため、アカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することを目的とする。

##### B 内容

- ・甲長・体重測定（基礎データ収集のため）
- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメ6個体に標識を装着（個体識別のため）。

##### C 方法

- ・御前崎小学校で短期育成しているアカウミガメの幼体を計測する。
- ・アカウミガメの幼体を放流する前に金属製の標識装着作業を行う。

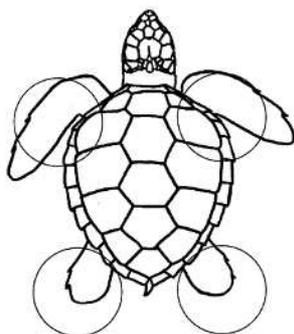
##### D 予想される結果

継続的に本研究を行うことで、北太平洋におけるアカウミガメの生息範囲や成長などの実態を把握することができる。

##### E 金属製の標識を取り付ける場所（第12図参照）

大きさ

- ・前肢部分  
全長 20 mm 幅 2 mm
- ・後肢部分  
全長 7 cm 幅 8 mm



第12図 標識を取付ける場所の模式図



写真7

標識を付けたウミガメの様子1



写真8

標識を付けたウミガメの様子2

(2) 御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事

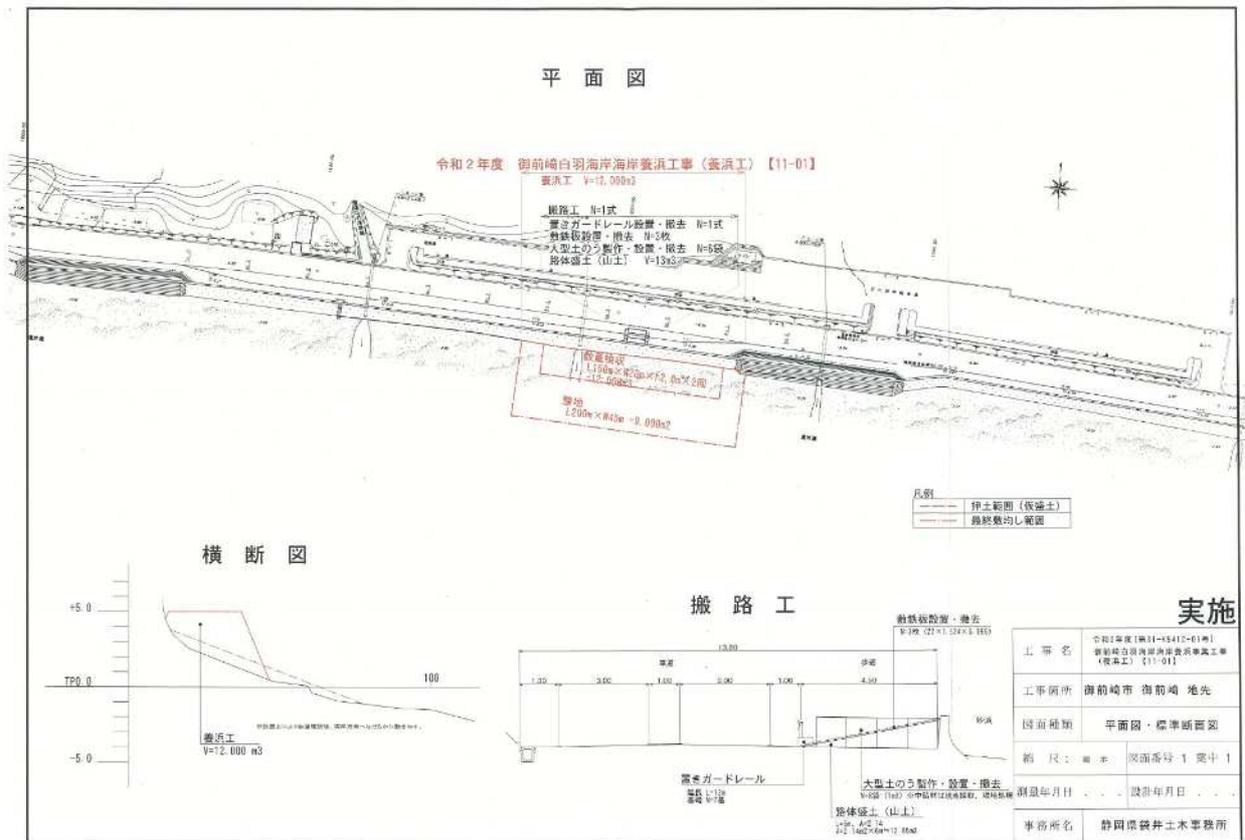
現状変更箇所の地番 御前崎市御前崎地先  
 許可申請者の名称 静岡県知事 川勝 平太  
 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区追手町  
 9番6号  
 着手及び終了の時期 令和2年9月18日から  
 令和3年3月15日  
 施工者の氏名 静岡県袋井土木事務所長  
 施工者の住所 袋井市山名町2番1号



第13図 海岸養浜工事運搬経路

① 現状変更等の内容及び実施の方法

砂浜の浸食対策としてマリンパーク御前崎内の浚渫砂及び2級河川箴川の浚渫砂を、ウミガメ巡視区域の指定箇所である3区の区域内に養浜 (V=12,000m<sup>3</sup>) した。ダンプトラックにより土砂を海岸へ直接投入し、その後、ブルドーザーにより周辺地形と調和するようになだらかに敷き均した。



第14図 令和2年度御前崎白羽海岸海岸養浜事業工事(養浜工)平面図



国の天然記念物に指定されている本市の海岸で、  
長年にわたってウミガメの保護活動に従事する

## ウミガメ保護監視員



▲6月16日に浜岡砂丘で産卵したアカウミガメと8人のウミガメ保護監視員  
後列：渡辺元治さん、澤部春一さん、増田均さん、良知正美さん  
前列：高田正義さん、早馬彰夫さん、大澤茂美さん、横山俊明さん

### 御前崎とアカウミガメ

本市は、海岸1キロ当たりにおけるアカウミガメの上陸頭数・産卵数が本州で一番多く、一部の海岸が産卵地として国の天然記念物に指定されている。これは、国内でも本市の海岸と徳島県日和佐大浜海岸の2カ所しかない。

下岬海岸で5月27日早朝、絶滅危惧種に指定されているアカウミガメの初上陸・初産卵がウミガメ保護監視員によって確認された。監視員の活動は、昭和47年に旧御前崎町教育委員会が2人のウミガメ保護監視員を委嘱し本格的に始まった。現在は、市教育委員会から委嘱された8人が保護活動に従事している。

### ウミガメ保護監視員の役割

保護監視員の朝は早い。産卵期間中は、朝4時から5時まで担当区域を巡視してアカウミガメの足跡を探す。産卵を確認した場合、台風被害や盗掘、外敵から保護するため、砂中から卵を取り出し、下岬のふ化場に移動させる。

昭和52年から続いている御

前崎小学校でのウミガメ観察飼育活動にも携わる。5年生飼育小屋で子ガメに餌を与えたり歯ブラシで甲羅を磨いたりして大切に育てる。自分の住むまちの環境問題や命の大切さ、思いやりの心を育むことが目的だ。

### 上陸頭数と産卵数の減少

「アカウミガメの上陸頭数と産卵数が減少しています。これは、海岸と海中にあるプラスチックやビニールなどのゴミが原因の一つです。ウミガメがこれらを食べてしまうと最悪の場合、死に至ります。このゴミ問題は、ウミガメだけでなく他の生態系にも影響を及ぼします。私たちは、自然生物に対してより一層の関心を持つ必要があります」と保護監視員の皆さんは注意喚起する。続けて「この活動に興味がある人は一緒にやりましょう」と笑顔をみせた。

私たちは、これからもウミガメや豊かな自然を後世に残していくため、一人一人が継続して環境美化に努める必要があるのではないだろうか。

#### (4) ウミガメ保護活動のまとめ

御前崎のウミガメ保護活動は、昭和 47 年に旧御前崎町教育委員会がウミガメ保護監視員を委嘱してから本格的な活動が始まった。その後、昭和 52 年に県の天然記念物に、昭和 55 年には国の天然記念物に指定された。平成 20 年度からは同じ御前崎市内のウミガメを保護する目的として、浜岡海岸のウミガメについても、ウミガメ保護監視員による保護活動を開始した。現在は、御前崎市教育委員会から委嘱された 8 名のウミガメ保護監視員が保護活動を継続している。

平成 26 年 4 月 1 日からは、アカウミガメが指定希少野生動植物に追加指定されるなど、保護活動のより一層の充実が求められる。

令和 2 年度におけるウミガメの産卵頭数・産卵個数は、前年比で見れば多少増加したが、過去の統計から見れば少ない結果となった。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、産卵観察会と放流観察会をやむを得ず中止した。

海御前崎の自然も年々変化し、海岸（産卵場所）のゴミ問題や砂浜の減少等、ウミガメの上陸・産卵にとっては厳しい状況であることに変わりはない。

ウミガメが安心して産卵できる環境を整えるため海岸清掃や産卵地の巡視を実施するとともに、静岡県による養浜工が継続して行われている。しかし、風や波の影響で海岸が侵食され続けているのが、御前崎の産卵地における現状といえる。

ウミガメの種を保存していくことを第一に考えつつ、ウミガメから御前崎の自然や文化を伝達し、命の大切さや思いやりの心を少しでも多くの人たちに感じてもらえるように活動していきたい。

また、長年のウミガメ保護監視員の活動の功績が認められ、広報おまえざき 7 月号のきりり人に掲載された（前ページに記事を掲載）。ウミガメ保護監視員等への励まし、貴重な御意見・御指導いただいた多くの方々にこの場を借りてお礼申し上げます。

これからもウミガメ保護活動に、あたたかい御支援・御協力をお願いいたします。



写真 9 無事産卵を終え、海に帰っていくアカウミガメ

## 2 国指定天然記念物「白羽の風蝕礫産地」の保護事業

### (1) 保護事業の内容及び実施の方法

国指定天然記念物である「白羽の風蝕礫産地」は御前崎市が管理団体になっていることから、保護事業として南側の駐車場部分や北側の市道新神子広沢線沿いの除草等業務を実施している。

令和2年度の除草等業務は、一般社団法人御前崎市シルバー人材センター及び株式会社雄樹園に委託して実施した。

一般社団法人御前崎市シルバー人材センターによる駐車場部分(第15図の維持の措置箇所①)の除草等業務は、令和2年8月4日に草刈り機などを使用して、県道佐倉御前崎港線から駐車場への入口通路から万葉の歌碑周辺の駐車場部分の除草等業務を実施した。刈った草や竹などについては2t ダンプに積んで搬出し、ゴミ焼却場に運搬して処分した。

株式会社雄樹園による市道新神子広沢線沿い(第15図の維持の措置箇所②)の除草等業務は、令和2年8月7日から8日にかけて草刈り機などを使用して、市道新神子広沢線から白羽の風蝕礫産地内に樹木がある部分までの斜面の草や竹などの除草等を実施した。刈った草や竹などについては2t ダンプに積んで搬出し、ゴミ焼却場に運搬して処分した。



1 駐車場入口通路の除草等業務施工前



2 駐車場入口通路の除草等業務施工後



3 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施工前



4 万葉の歌碑周辺駐車場の除草等業務施工前

写真10 白羽の風蝕礫産地駐車場部分の除草等業務①



1 除草作業施行風景 1



2 除草作業施行風景 2



3 除草作業施行風景 3



4 刈った草のダンプへの積込風景

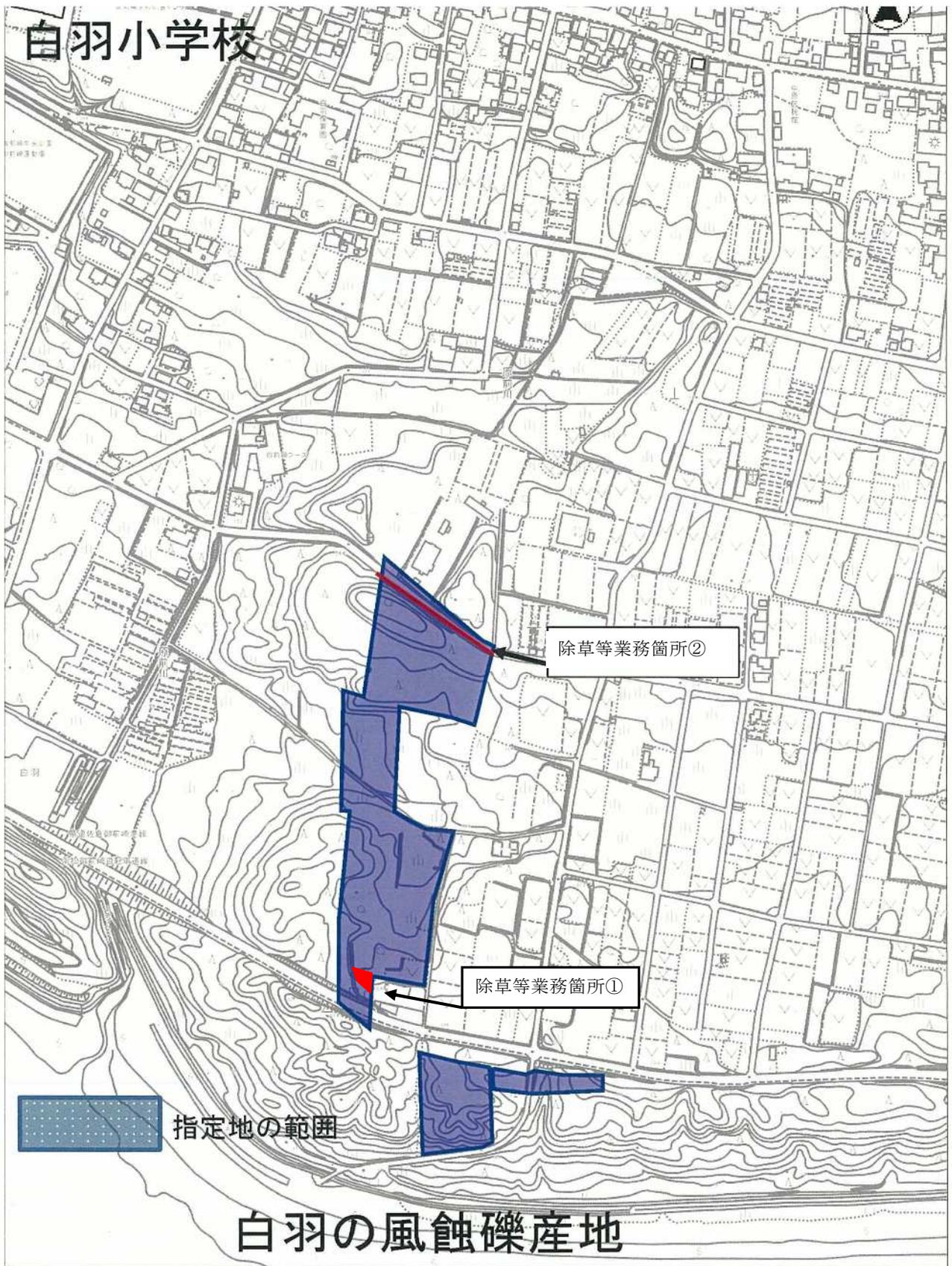


5 除草等業務の施工前



6 除草等業務の施行後

写真 11 白羽の風蝕礫産地市道新神子広沢線沿いの除草等業務②



第 15 図 白羽の風蝕礫産地の除草等業務箇所位置図

### 3 県指定天然記念物「比木賀茂神社社叢」の現状変更

#### (1) 現状変更に至る経緯

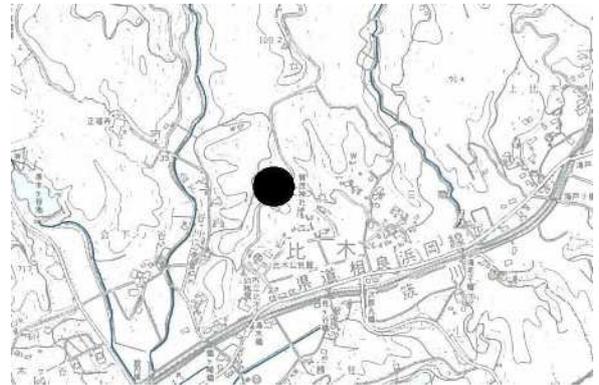
令和2年3月ごろに賀茂神社氏子から要望があり、現地を確認したところ、複数の大径木の劣化が確認された。劣化が確認された樹木については、特に大径木 No. 31 スダジイと大径木 No. 126 モッコクは樹勢の衰えが著しく倒木により神社施設等への被害も予想された。

また、令和2年11月ごろに指定地隣地に居住されている住民から指定地から樹木が敷地に侵入しているとの連絡を受け、現地確認を行ったところ、ヤマモモの木の枝の隣地への侵入が確認された。

特殊伐採ができる専門の業者に発注し、伐採工事が計画された。令和2年11月6日付で管理責任者である御前崎市長から御前崎市教育委員会に現状変更許可申請書が提出され、令和2年11月26日に静岡県知事に副申とともに進達した。

今回の現状変更は、伐採及び剪定する樹木が多く、今後の現状変更の計画を策定していく方法なども含めて、静岡県文化財課の文化資源活用班の職員の随行による静岡県文化財保護審議会の徳岡徹委員による調査が令和2年12月24日に実施された。

そして、令和3年2月2日付で、静岡県文化財保護条例第33条の規定に基づき静岡県知事により現状変更が許可された。令和3年2月19日に樹勢が著しく衰えている樹木、神社建造物に倒木時の被害を与える恐れのある樹木の伐採及び剪定と隣地侵入樹木の剪定工事を実施した。



第16図 賀茂神社社叢の位置(1/25,000)

#### (2) 比木賀茂神社社叢の現地調査報告(要略)

調査者 静岡県文化財保護審議会委員  
徳岡 徹(静岡大学 理学部 生物科学科 准教授)  
調査日 令和2年12月24日(木)

御前崎市からの説明：

社叢(配布資料の青色範囲)のうち、近年倒木があり、工作物に被害が出ている範囲(配布資料の緑色の範囲)について、枯死木・枝の伐採・剪定、建造物や工作物への被害を出す可能性がある危険木・危険枝の伐採・剪定を予定している。

徳岡委員の意見：

社叢は指定地内の樹木が枯死と発生という自然の変遷を経ることもその特徴であり、枯死したからといって伐採する必要はないという前提があるので留意願いたい。また、大径木だけではなく、小径木も社叢を更新していくことには重要であり、小径木だから伐採してよいというわけではない。一方で、境内地の安全性の確保、隣地からの苦情に対応する必要があるため、危険木を必要最小限で伐採・剪定等はやむを得ない。

県文化財課から、今回は危険木・枯死木の伐採などを予定しているが、できれば神社関係者にも分かるように手をつけずに保存する部分、境内地のように安全性を考慮しある程度人手による管理をしていく部分を明確にしてほしい（管理方針の作成とゾーンニング）とのことであった。この方針については徳岡委員も賛成である。例えば本殿向かって左側の建物脇（34番近く）にキンモクセイが植樹されていたが、キンモクセイは暗い林床下でも大きくなるので、このようにゾーンニングしていれば管理しやすいと思われる。

指定地の社叢の樹木には樹木名札が設置されており、一般市民が植物に親しめるように工夫がされていた。また、御神木の横には植物や鳥類の説明看板も設置されていた。今後是非、これらを積極的に利用して、天然記念物の森林の素晴らしさを伝えていただきたい。

#### 確認事項：

(ア) 令和2年度現状変更希望分について確認した。

- ・ 84番（ホルトノキ） 先端の枯死枝部分の伐採
- ・ 90番（御神木のスダジイ） 建造物にかかる危険枝を剪定
- ・ 97番（スダジイ） 建造物にかかる危険枝（90番と接している根本から）の剪定
- ・ 賀茂神社前の小径木（サカキ） 指定前にはなかったもの。成長すると建造物に影響が出るため伐採（短くするのでもOK）
- ・ 38番（タブノキ） 建造物の上に伸びてきている危険枝の剪定
- ・ 32番（スダジイ） 配布資料では32番はイヌマキとなっているが、当該樹木はスダジイであるため、おそらく32番は既に無く配布資料では31番と表記されているものと思われるが、確認が必要。主幹が2本に分かれているうちの建造物側が枯死しており、この部分の伐採することを確認した。ただし、斜面地側に延びるもう一本の主幹について、重しがなくなることから倒木の危険が出る可能性があるため、枝を剪定して上部を軽くすることも検討願いたい。
- ・ 35番（クロガネモチ） 上部の建造物にかかる枝の剪定
- ・ 34番（ミミズバイ） 配布資料ではスダジイとされているが誤記かもしれない。成長すると建造物に影響が出ることから伐採
- ・ 126番（おそらくモッコク） 枯死しており倒木すると建造物への影響があるため伐採

#### エ 現状変更計画以外

(ア) 社叢中央部南西側に篠竹が繁茂している部分がある。また、北部と西部の指定地はその間の茶畑放棄地が竹林化し、その影響で竹が侵入してきている。社叢を維持するためには進入してきた竹の一斉除去を検討願いたい。

(イ) 境内入口東側の住居の北側の斜面にも篠竹が繁茂し始めているため、この伐採を検討願いたい。

(ウ) 社叢中心部西側のところに枯死寸前で横の樹木に寄りかかっているものがある。倒木した場合は架線を切断する可能性があり、伐採も検討願いたい。

#### (3) 現状変更等の内容及び実施の方法

特殊伐採ができる専門の業者により、高所作業車を手配し、伐採箇所については根元から伐採。剪定箇所は支障になっている枝の部分を作業員が樹木に上り、作業を行った。切った枝等は、高所作業車にて運び出し、荷台に収納し、作業員が更に細かく伐採した。



第 17 図 令和 2 年度現状変更申請樹木位置図



2 作業前の大径木 No. 90 スダジイ



3 剪定作業後の大径木 No. 90 スダジイ

写真 12 比木賀茂神社社叢支障木伐採、剪定工事



4 伐採作業前の大径木 No. 97 スダジイ



5 伐採作業後の大径木 No. 97 スダジイ



6 伐採作業前の大径木 No. 31 スダジイ



7 伐採作業後の大径木 No. 31 スダジイ



8 作業中の様子



9 作業中の様子

写真 13 比木賀茂神社社叢支障木伐採、剪定工事

## 4 市指定天然記念物「旧朝比奈小学校の黒松」の指定

### (1) 「旧朝比奈小学校の黒松」の概要

クロマツは、本州、四国、九州及び吐噶喇列島の海辺を中心に自生する常緑高木。西日本ではアカマツよりも多く、また、日本以外では韓国に自生が見られる。雌雄同株で樹皮はクロマツという名が示すとおり黒味を帯び、樹齢を重ねると亀甲状に剥離する。

「旧朝比奈小学校の黒松」は、根周り 3.9m、幹周囲が 2.9m、樹高 12.7m で樹齢は 160 年と推定されている。現在朝比奈中央広場がある近辺に明治 22 年 7 月に朝比奈小学校が設置されていることから、この頃にクロマツの若木を植えたのか、近隣のクロマツを移植したと考えられる。

その後、昭和 52 年に朝比奈小学校が閉校するまでの 88 年に亘る長い間、朝比奈地区の人々は子供の頃から「旧朝比奈小学校の黒松」を眺め続け、大人になっても深い愛着を持っていたため、朝比奈中央広場を造成した際にも伐採されずにその一角に残されたと思われる。

現在は、朝比奈中央広場の南端に位置し、周辺に陽光を遮るものがない独立樹の一本松となっている。土壌は硬く締まっているが、クロマツは耐堅密性樹種であり、また、土壌 Ph も高いものの適合する範囲にあり、北側と西側に枝がないが他方向から廻り込んでおり、製枝剪定され樹勢、樹形ともに概ね良い状態に保たれている。

市内に生育するクロマツの中で最大級に属するもので、また、樹木の由来も旧朝比奈小学校の歴史と深い関わりを有するものと認められ、旧朝比奈小学校の景観を伝えている点からも貴重な樹木であると判断された。

### (2) 指定に至るまでの経緯

#### ① 文化財指定申請

令和 2 年 12 月 10 日付けで、朝比奈地区センター運営協議会会長より、市指定天然記念物の文化財指定申請書が御前崎市教育委員会に提出された。

#### ② 御前崎市文化財保護審議会への諮問

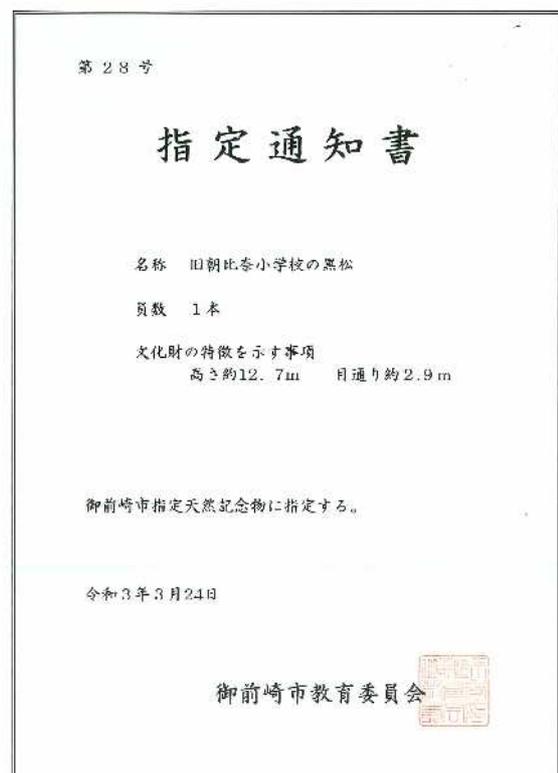
御前崎市教育委員会は令和 2 年 12 月 24 日付けで、御前崎市文化財保護審議会条例第 4 条第 3 項に基づき、市文化財保護審議会に御前崎市指定文化財への指定について諮問した。

#### ③ 御前崎市指定文化財の指定についての答申

御前崎市教育委員会の諮問に応じて令和 3 年 2 月 15 日に文化財保護審議会を開催し、「旧朝比奈小学校の黒松」の指定についての審議が実施された。その結果、御前崎市指定天然記念物に指定することが妥当であると教育委員会に答申された。

#### ④ 御前崎市教育委員会による指定

令和 3 年 3 月 24 日に定例教育委員会が開催され、同日付で御前崎市指定天然記念物(植物)に指定された。



旧朝比奈小学校の黒松の指定書(表)



写真 14 旧朝比奈小学校の黒松の遠景(西側から)



写真 15 朝比奈尋常高等小学校時代の黒松(昭和初期)  
浜岡町発行(平成16年)浜岡町・閉町記念写真集「風紋」より



写真 16 朝比奈国民学校時代の黒松(昭和 17 年頃)  
浜岡町発行 (平成 16 年) 浜岡町・閉町記念写真集「風紋」より



写真 17 朝比奈小学校時代の黒松(昭和 44 年)  
浜岡町発行 (平成 16 年) 浜岡町・閉町記念写真集「風紋」より

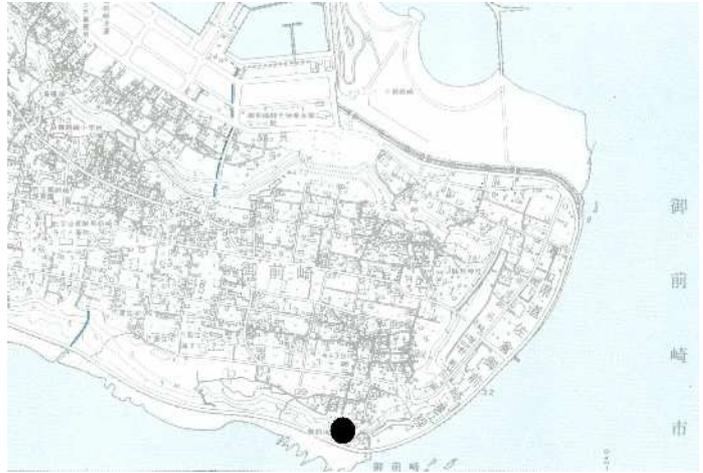
## 5 「御前埼灯台」の文化財調査

### (1) 「御前埼灯台」の文化財調査の概要

御前埼地区にある「御前埼灯台」と明治7年に竣工した煉瓦造の灯台で、付属施設である旧吏員退息所とともに御前埼市内の煉瓦造の建造物としては最古のものである。

今回の御前埼灯台の文化財調査は、所有者である海上保安庁第三管区海上保安本部清水海上保安部の協力を得て、御前崎市在住の静岡県文化財建造物監理士である村松建築設計事務所の村松浩次氏に委託して実施した。

調査結果は以下の調査票のとおりである。



第 18 図 御前埼灯台の位置(1 : 25,000)

### (2) 御前埼灯台の調査票

		* 整理番号	
名称のよみ	おまえさきとうだい	旧名称のよみ	おまえさきとうだい
名 称	御前埼灯台	旧名称	御前埼燈臺
所在地	静岡県御前崎市御前埼字燈明 1581 番	旧所在地	静岡県遠江國榛原郡御前崎村 1581 番
所有者名	海上保安庁 第三管区海上保安本部 清水海上保安部	電話	0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 5
住 所	静岡県静岡市清水区日の出町 9-1	〒番号	4 2 4 - 0 9 2 2
管理者名	所有者に同じ	電話	所有者に同じ
住 所	同上	〒番号	同上
用途・目的 (詳細に)	灯台 御前埼沖を航行する船舶の安全を守るための施設		
指定・登録	市町村指定 (登録) (建造物) 史跡 その他 ( )		
設計者	リチャード・ヘンリー・ブラントン (英国)	施工者	近隣の大工・左官・石工
竣 工	年代： 西暦 (1874 ) 年 (明治)・大正・昭和 ( 7 ) 年 根拠： 柱彫込文字 (銘板) (施工関連書類) その他 ( )		
沿 革	御前埼沖は江戸時代の海図に「海の道」と記されているように江戸と大阪を結ぶ重要な海路となっていた。幕末になると西洋諸国の船の来航も多くなり、安政6年にイギリス船が御前暗礁に乗り上げる事故があったことなどにより、英国公使より灯台設置を強く要求される。 明治5年英国人技師リチャード・ヘンリー・ブラントンの設計、指導の下、近隣の大工・左官・石工により西洋式灯台が建設され、明治7年4月30日竣工した。初点灯時、光源は石油ランプであったが、明治42年からは電気ランプとなる。		

	太平洋戦争末期には米軍の攻撃により一時その機能を失ったが、応急処置で対応していた。戦後本格復旧とランプの性能向上をはかった。その後幾度の改修・耐震改修を重ね現在に至る。また、灯台施設が近代化されたことや業務の合理化により、平成11年4月から無人化され、遠隔操作による静岡航路標識事務所管理となった。平成17年4月から海上保安庁清水海上保安部航行援助センター管理となり現在に至る。
修理内容	別添図による
構造	灯台 煉瓦造 床、階段及び開口部は石造 旧官舎 煉瓦構造 屋根 アスファルトシングル葺き
規模	階数 ( 3 ) 灯台： 高さ 22.47m 旧官舎 (現展示室・倉庫) 約 ( 21.77 ) m × ( 10.425 ) m
特徴 (使用材料・細部意匠)	灯台は煉瓦構造であるが、床・階段及び開口部廻りは「伊豆石」を使った石造となっている。外部仕上は漆喰塗りとし、石積風化粧目地が施されている。 灯台に接続された旧官舎は幾多の改修を重ね、現在は無人化し、灯台守としての機能は持たなくなったが、往年の灯台守の働きを偲ばせる貴重な建物である。
調査者所見	遠州灘の突端にそびえる純白の灯台と接続建屋は、明治初頭からその姿を変えることなく現在に至る。その圧倒的な存在感は御前崎市の象徴であり、市民の誇りとなっている。 また、この灯台は岬の先端に位置しながら集落に接し、磯遊びや利便性の高いドライブウェイに隣接している。さらに近年ではウインドサーフィンの国際大会が開かれるなど、地域の観光に欠かすことのできないランドマークとなっており、一級品の文化財的価値を有することは間違いないと思われる。 ----- 保存状況など 竣工時から海上交通を支える施設として絶えず改修と性能の向上を重ねている。また、構造基準の改正に伴い、1983年と2016年には耐震改修を行っており、現役の灯台としてその役目を果たしている。

調査日	令和 2 年 6 月 9 日 ( 再調査日 令和2年10月30日 )
調査者氏名	村松浩次
所属・電話	0537-85-3931

分類	商業	旅館 料亭 店舗 醸造業 その他 ( )
	公共	集会所 公民館 劇場 役場 学校 塾 その他 ( 灯台 )
	住居	一般住宅 別荘 民家 宿泊所 その他 ( )
	宗教	寺院 (本堂 庫裏 書院 客殿 寺務所 鐘楼 門 会館 ) 神社 (本殿 幣殿 拝殿 社務所 舞殿 門 会館 ) キリスト教会 その他 (天理教 )
	その他	茶室 道場 その他 ( 橋 )



1 海沿い道路東側から御前埼灯台を臨む



2 海沿い道路西側から御前埼灯台を臨む



3 北東側から臨む施設全景



4 北西側から臨む施設全景



5 灯台東側



6 灯台正面入口



1 灯台内部 灯塔階段（一部明り取り有り）



2 灯台内部 壁（煉瓦構造）



3 灯台内部（灯台中央 コア）



4 燈塔デッキからの眺望（西方向を望む）



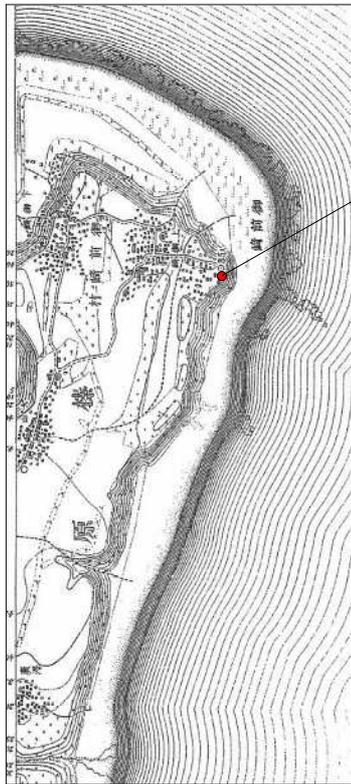
5 灯台正面入口上部 竣工銘板  
「ILLUMINATED 1<sup>ST</sup> MAY 1874」  
「明治 七年 甲戌 五月 一日 初照」



6 灯台正面入口上部 施設銘板  
「御前埼燈台」



位置図 1 / 25,000  
引用 平成18年 国土地理院 発行地図



拡大位置図 1 / 20,000  
引用 明治22年 大日本帝國陸地測量所発行地図

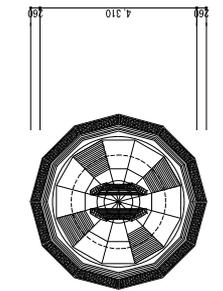


拡大位置図 1 / 5,000  
引用 御前崎市地理情報GISシステム

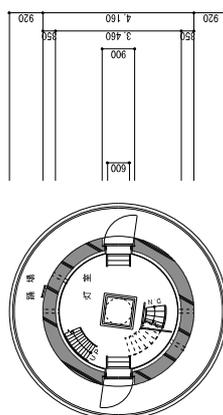
第19図 位置図

工事名称 令和2年度文化財保護事業 御前崎灯台文化財調査	図面名称 位置図	縮尺 1 / 25,000	相違 御前崎灯台 村内拡大は右図参照	年月日	一般建築士事務所 〒407-6112 静岡県御前崎市池新田 4286-2 TEL.0537-65-9301 FAX.0537-65-9302 村松浩次	図面番号 A-01
村松建築設計事務所		一般建築士登録番号 138284				

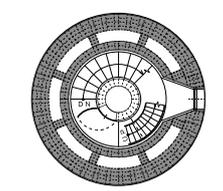




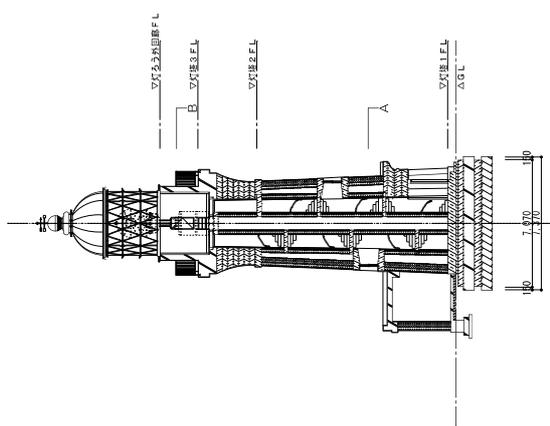
灯ろう・二回廊平面図 1/100



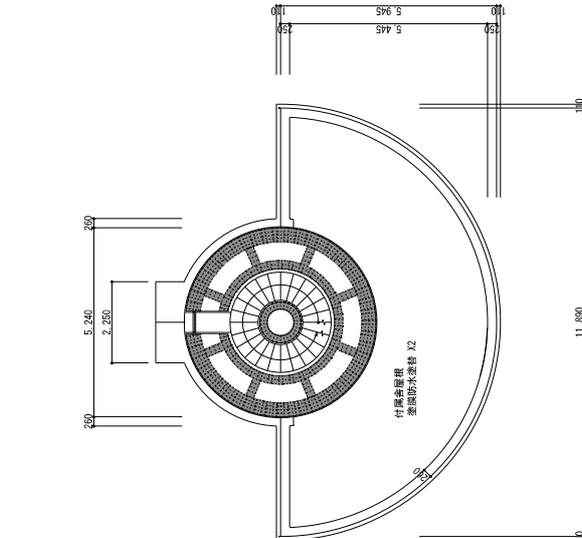
3 階平面図 一B 1/100



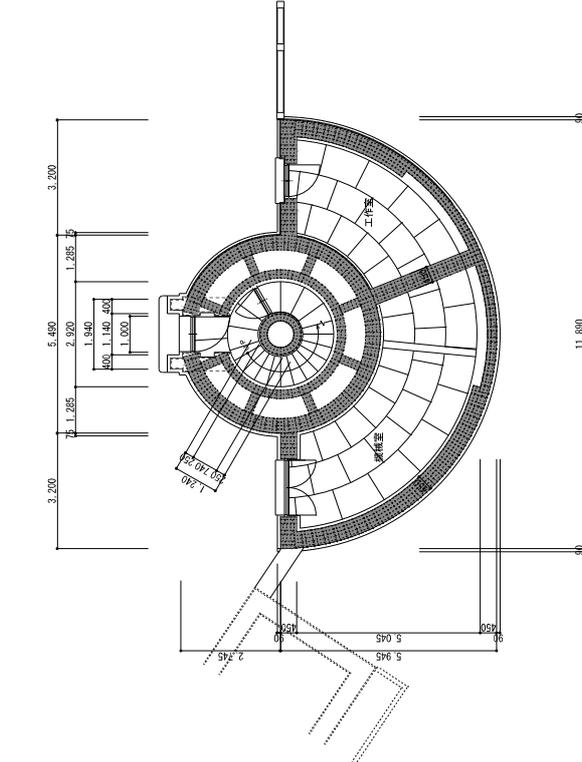
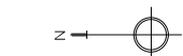
2 階平面図 1/100



平面図描写位置 1/200



1 階履帯状図 一A 1/100

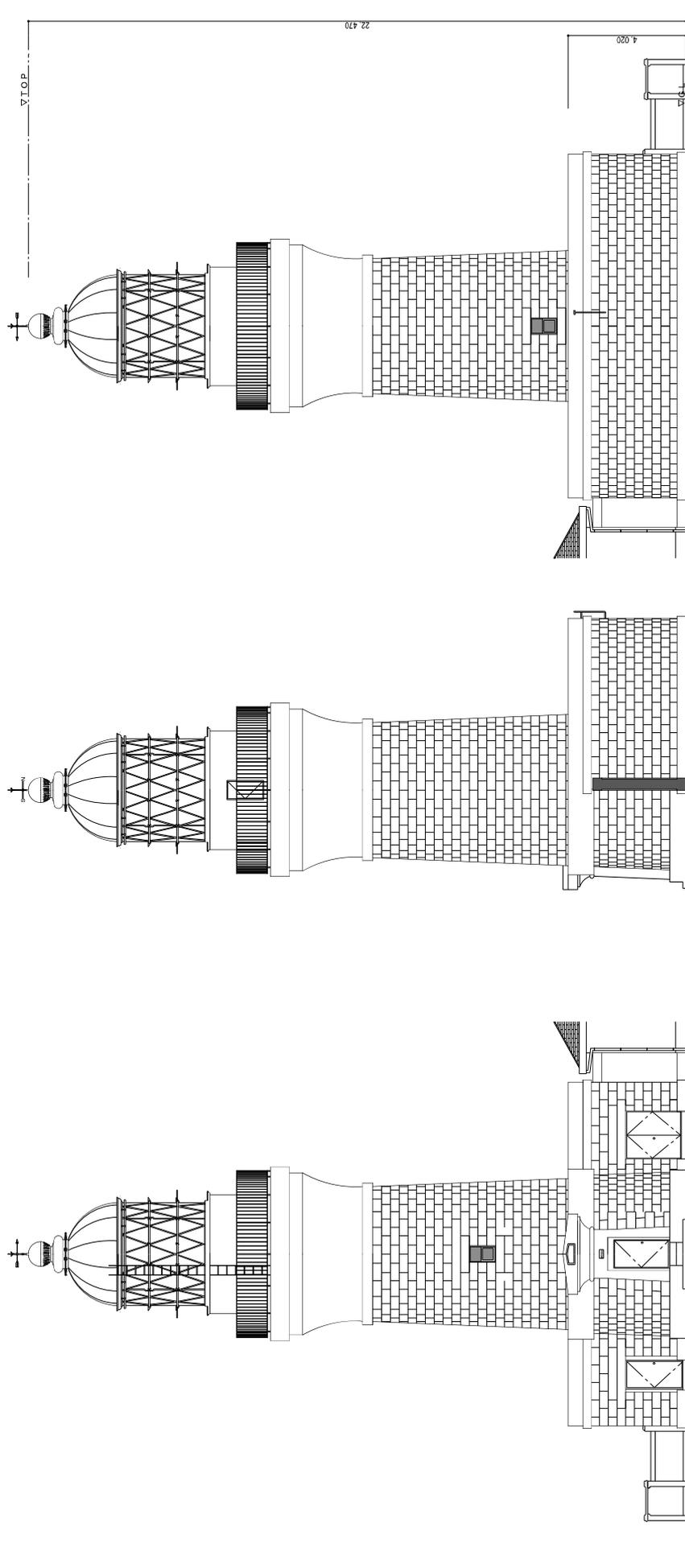


1 階平面図 1/100

図中 部分は縮尺5倍であるが、詳細図がないため、提供資料、写真、文脈、類似灯台図を基に作図

第21図 灯台平面図

工事名称	令和2年度文化財保護事業 御前崎灯台文化財調査	図名	灯台 平面図	縮尺	1/100 A3出力時 70.7%縮小	担当	年月日	図番	A-03
調査	令和2年5月～	資料提供	第一管区海上保安本部 清水海上保安部	1級建築士登録番号	138284	図番		図番	
設計	村松浩次	事務所	村松建築設計事務所	事務所	〒437-0112 静岡県御前崎市津田 428F-2	TEL	0537-85-3331	FAX	0537-85-3332



灯台 北立面図 1/100

灯台 西立面図 1/100

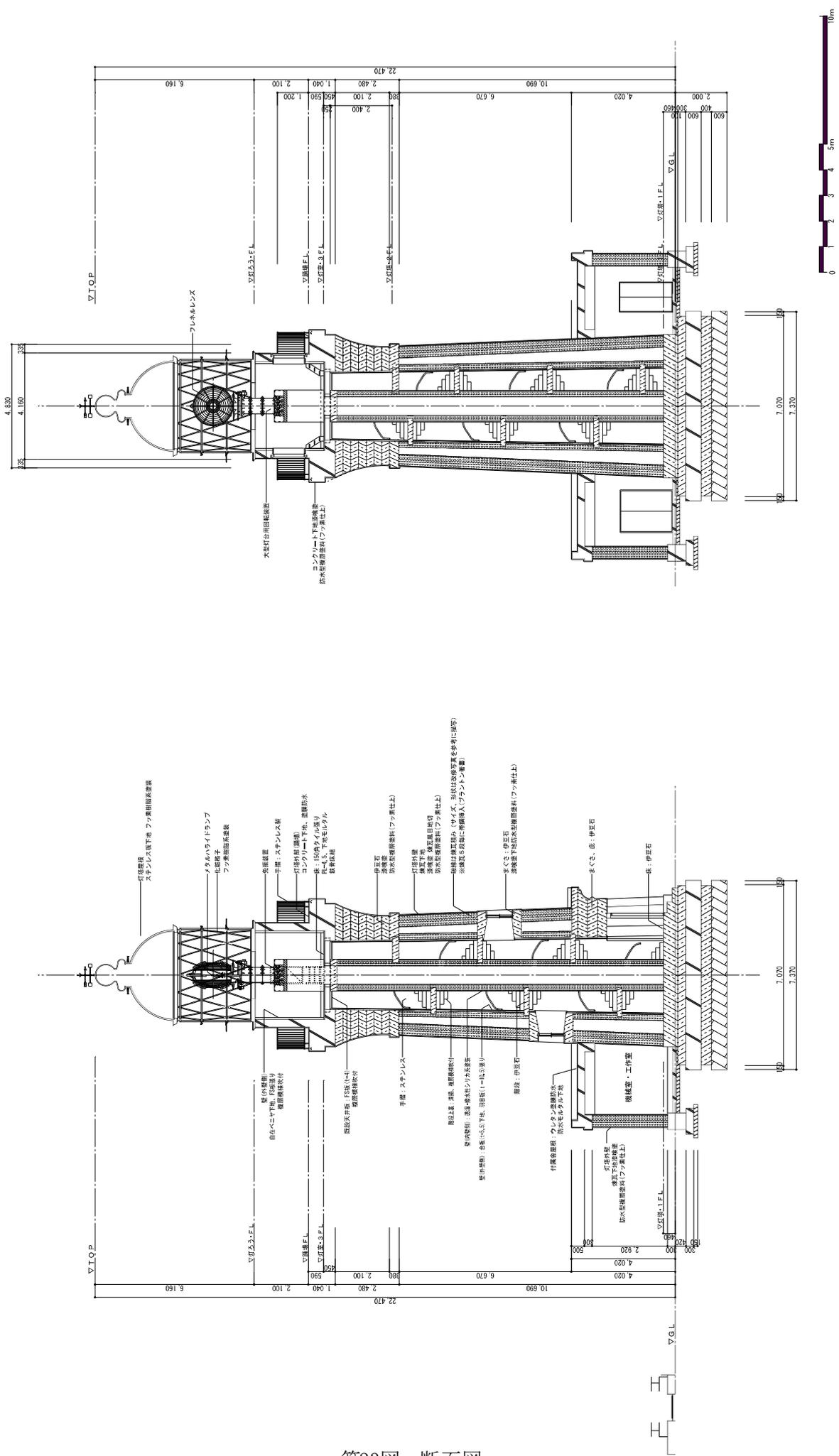
灯台 南立面図 1/100



第22図 灯台立面図

工事名称 令和2年度文化財保護事業 御印灯台文化財調査	図面名 灯台立面図	縮尺 1/100 起算日時 7/7%縮小	担当 年月日	一般建築士事務所 〒474-862 静岡県掛川市池田 478-2 TEL 0537/85-3911 FAX 0537/85-3922 1級建築士登録番号 138284 村松浩次	図面番号 A-04
--------------------------------	--------------	----------------------------	-----------	---	--------------

調書：令和2年5月～  
資料提供：第三学区海上保安本部 清水海上保安部



第23図 断面図

工事名称	登録文化財 御前崎灯台	図名	断面図	縮尺	1/100 A3出力時 70.7%縮小	年月日	2020.06.01	図番	A-05
調査	令和2年6月～	資料提供	第三管区海上保安本部 清水海上保安部	図番	138284	設計者	村松浩次	設計者	村松浩次
設計者	一級建築士事務所 村松建築設計事務所	事務所	〒437-6162 静岡県静岡市清水区新田 428-2	TEL	0537-65-3831	FAX	0537-65-3832		

内部仕上げ

室名	箇所	下地	当初仕上げ	戦災改修	昭和27～28年改修	昭和36～38年改修	昭和44年改修	昭和57～58年改修	昭和63年改修	平成5年改修	平成15年改修	平成22年改修	平成28年改修	令和2年現在
灯ろう	天井													天井板
	防塵床													天井防塵床 木片・石膏・石膏置床
3階灯室	天井													
	壁(外壁側)	煉瓦積み	板張り下地・漆喰塗											壁(外壁側) 自在アセキ下地、FS板張り 漆喰塗 壁(内壁側)：漆喰下地 合成樹脂調合ペイント塗
2階灯室	天井													天井：FS板(t=4) 漆喰塗 壁(内壁側)：漆喰 壁：3階灯室と同仕様
	壁(内壁側)	煉瓦積み	漆喰塗											壁：下地調整
灯室階段	天井													階段上壁：漆喰 壁(内壁側)：下地調整 壁(外壁側)：漆喰合板貼付 合板(5.5)、至目板(t=10.5)
	壁(内壁側)	煉瓦積み	漆喰塗											階段上壁：漆喰 壁(内壁側)：下地調整 壁(外壁側)：漆喰合板貼付 合板(5.5)、至目板(t=10.5)
1階灯室	天井(階段)	伊豆石表し	伊豆石表し											階段上壁：漆喰 壁(内壁側)：漆喰下地 壁(外壁側)：漆喰合板貼付 自在アセキ下地、FS板張り
	壁(外壁側)	煉瓦積み	煉瓦表し											階段上壁：漆喰 壁(内壁側)：漆喰下地 壁(外壁側)：漆喰合板貼付 自在アセキ下地、FS板張り
付属舎 (機械室) (工作室)	天井													天井：伊豆石
	壁(内壁側)	煉瓦積み	煉瓦表し											天井：伊豆石

第19表 灯台改修履歴一覧表

外部仕上げ

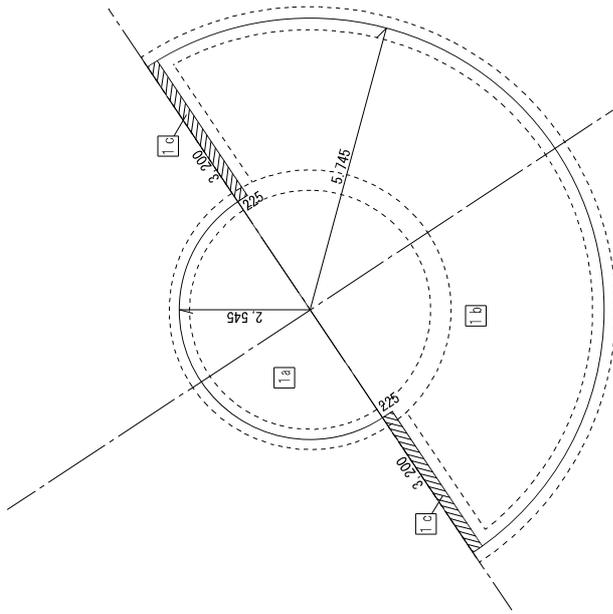
個所	個所	下地	当初仕上げ	戦災改修	昭和27～28年改修	昭和36～38年改修	昭和44年改修	昭和57～58年改修	昭和63年改修	平成5年改修	平成15年改修	平成22年改修	平成28年改修	令和2年現在
灯室屋根	天井													ステンレス板下地 フッ素樹脂塗装
	壁(外壁側)	煉瓦下地	漆喰塗											化能付子：フッ素樹脂塗装 壁(外壁側)：フッ素樹脂塗装
3階灯室講場	天井													天井：ステンレス 壁：ステンレス 外壁：コンクリート下地、漆喰 床：防虫防湿シート 床：塗膜防水
	壁(外壁側)	煉瓦下地	漆喰塗											壁(外壁側)：漆喰 壁(内壁側)：漆喰 床：防虫防湿シート 床：塗膜防水
付属舎 (機庫室・工作室)	天井													壁(外壁側)：漆喰 壁(内壁側)：漆喰 床：防虫防湿シート 床：塗膜防水
	壁(外壁側)	煉瓦下地	漆喰塗											壁(外壁側)：漆喰 壁(内壁側)：漆喰 床：防虫防湿シート 床：塗膜防水
灯塔外壁	天井													壁(外壁側)：漆喰 壁(内壁側)：漆喰 床：防虫防湿シート 床：塗膜防水
	壁(外壁側)	煉瓦積み	漆喰塗											壁(外壁側)：漆喰 壁(内壁側)：漆喰 床：防虫防湿シート 床：塗膜防水
その他	天井													天井：伊豆石
	壁(外壁側)	煉瓦積み	漆喰塗											天井：伊豆石

調査：令和2年5月～ 資料提供：第三管区海上保安本部 清水海上保安部

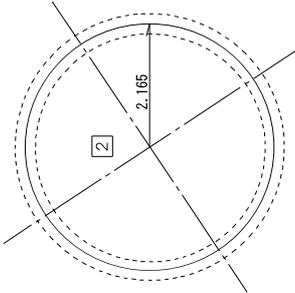
一級建築士事務所 村松建築設計事務所 一級建築士登録番号 138284 四角番号 A-06  
〒437-1612 静岡県静岡市清水区 4386-2 TEL.0537)95-3932 FAX.0537)95-3932 村松浩次

昭和2年度文化財保護事業 御前崎灯台文化財調査 図面6 灯台改修履歴

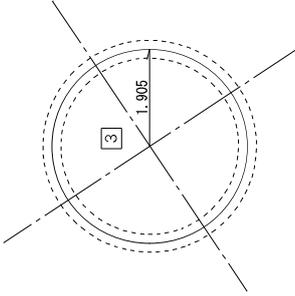
工事名称 昭和2年度文化財保護事業 御前崎灯台文化財調査 図面6 灯台改修履歴



灯台 1階求積図 1/100



灯台 2階求積図 1/100



灯台 3階求積図 1/100

第24図 灯台 求積図・求積表

灯台 求積表		単位 m <sup>2</sup>
[a]	$3.14 \times 2.545 \times 2.545 \times 0.5$	$= 10.16892925$
[b]	$3.14 \times 5.745 \times 5.745 \times 0.5$	$= 51.8178925$
[c]	$3.20 \times 0.225$	$= 0.72$
[2]	$3.14 \times 2.165 \times 2.165$	$= 14.7178865$
[3]	$3.14 \times 1.905 \times 1.905$	$= 11.3951385$

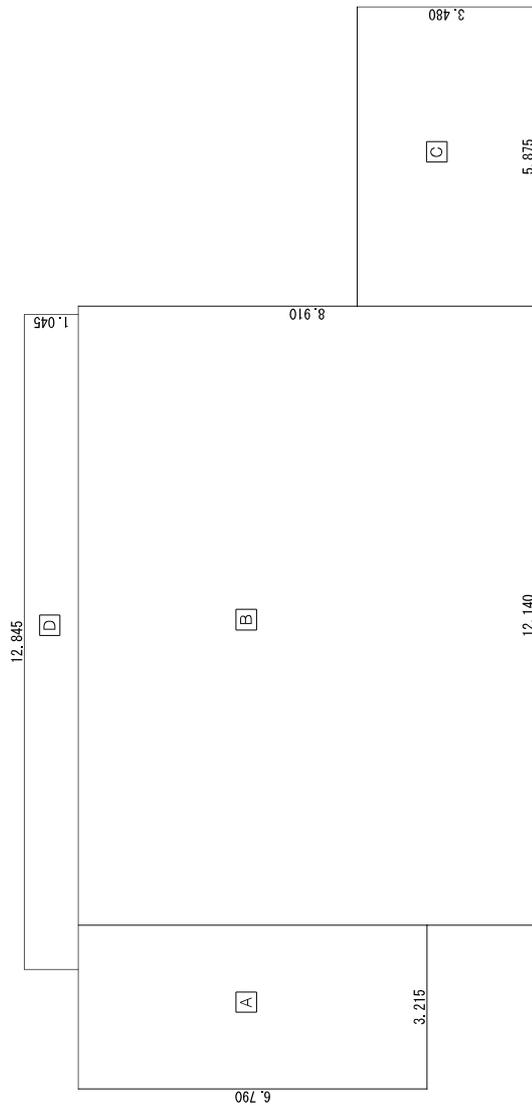
建築面積  $[a] + [b] - [c] - [d]$   $= 60.54 \text{ m}^2$

床面積  $[a] + [b] - [c] - [d] + [2] + [3]$   $= 89.53 \text{ m}^2$





第27図 旧官舎 求積図



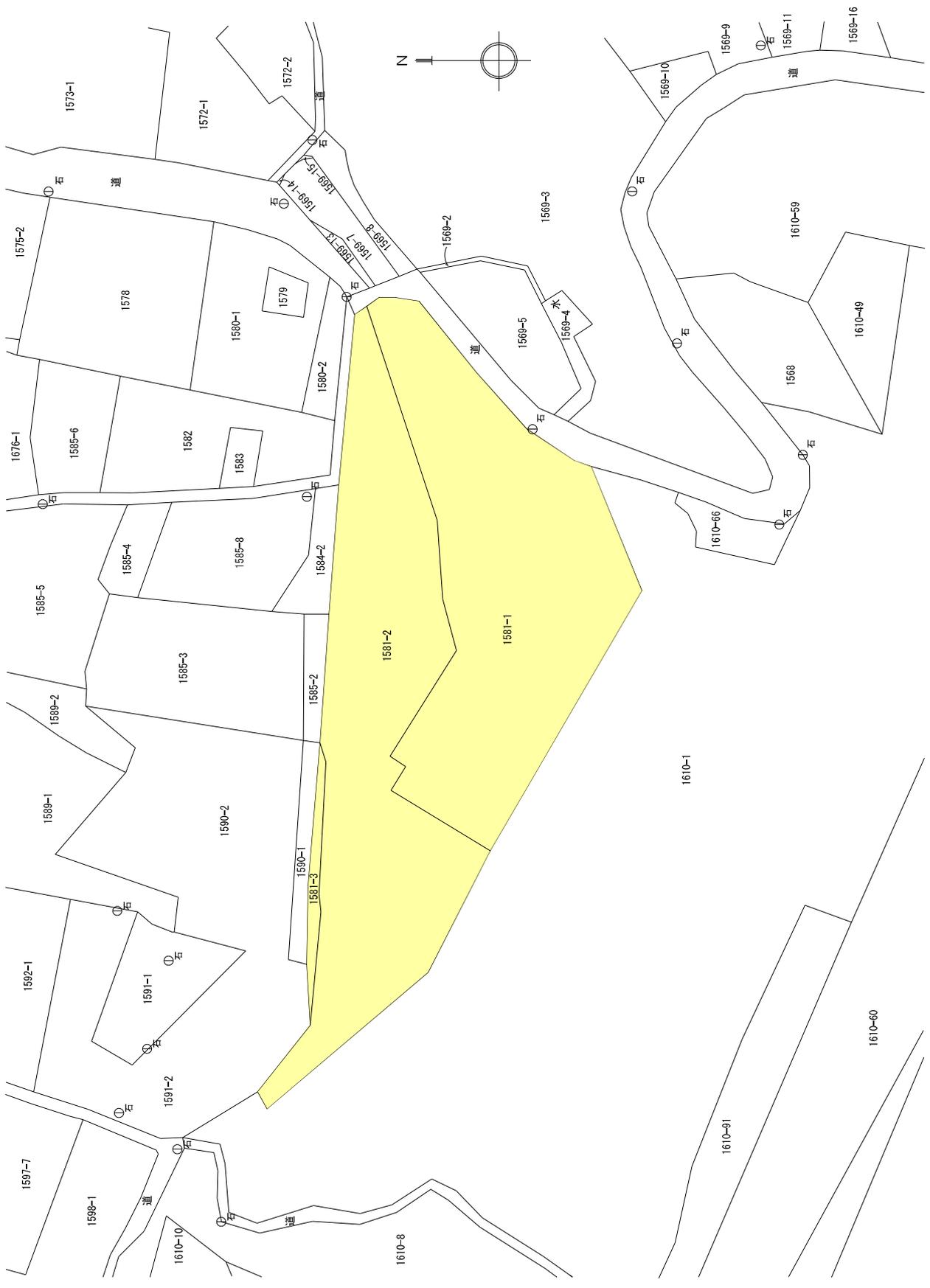
旧官舎 1階求積図 1/100

旧官舎 求積表		単位	㎡
A	3.215 × 6.790	=	21.830
B	12.140 × 8.910	=	108.167
C	5.875 × 3.480	=	20.445
D	12.845 × 1.045	=	13.423

建築面積  $A + B + C + D = 163.86 \text{ m}^2$

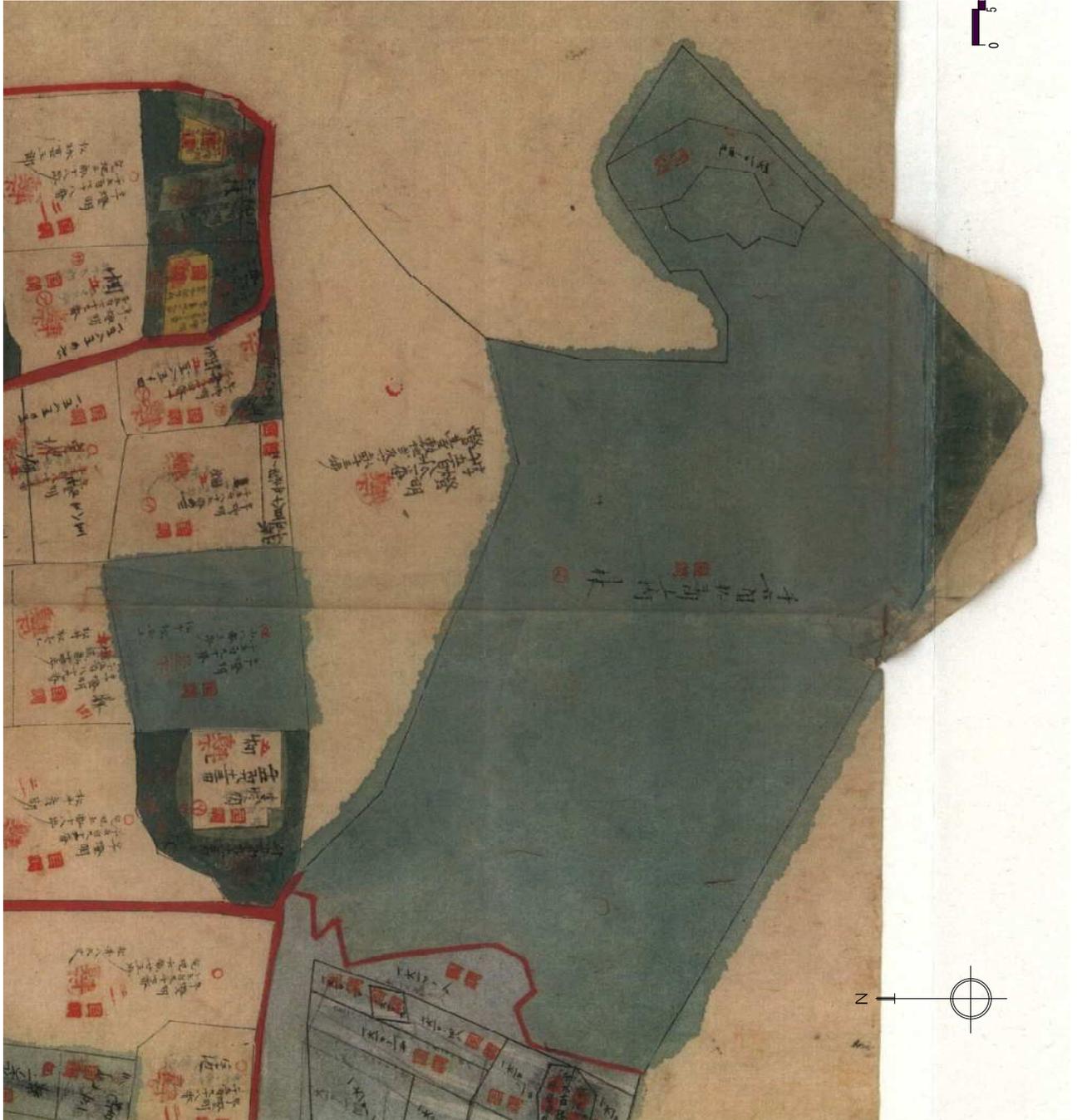
床面積  $A + B + C = 150.44 \text{ m}^2$





第29図 公図(写し)

工事名称 令和2年度文化財保護事業 御前崎灯台文化財調査	図名 公図写し	縮尺 1/500	相場	年月日 2020	一般建築士事務所 村松建設事務所 〒431-1612 静岡県御前崎市池田 4206-2 TEL.(0537)95-3931 FAX.(0537)95-3932	資料 静岡県地方公務局掛川支局
---------------------------------	------------	-------------	----	-------------	---	--------------------



第30図 法典図

所在：静岡県御前崎市

図番 A-13

一般建築士事務所 村松建築設計事務所 一般建築士登録番号 138284  
 〒437-0112 静岡県御前崎市地蔵田 4286-2 TEL.(0537)85-3931 FAX.(0537)85-3932 村松浩次

年月日 2020

担当

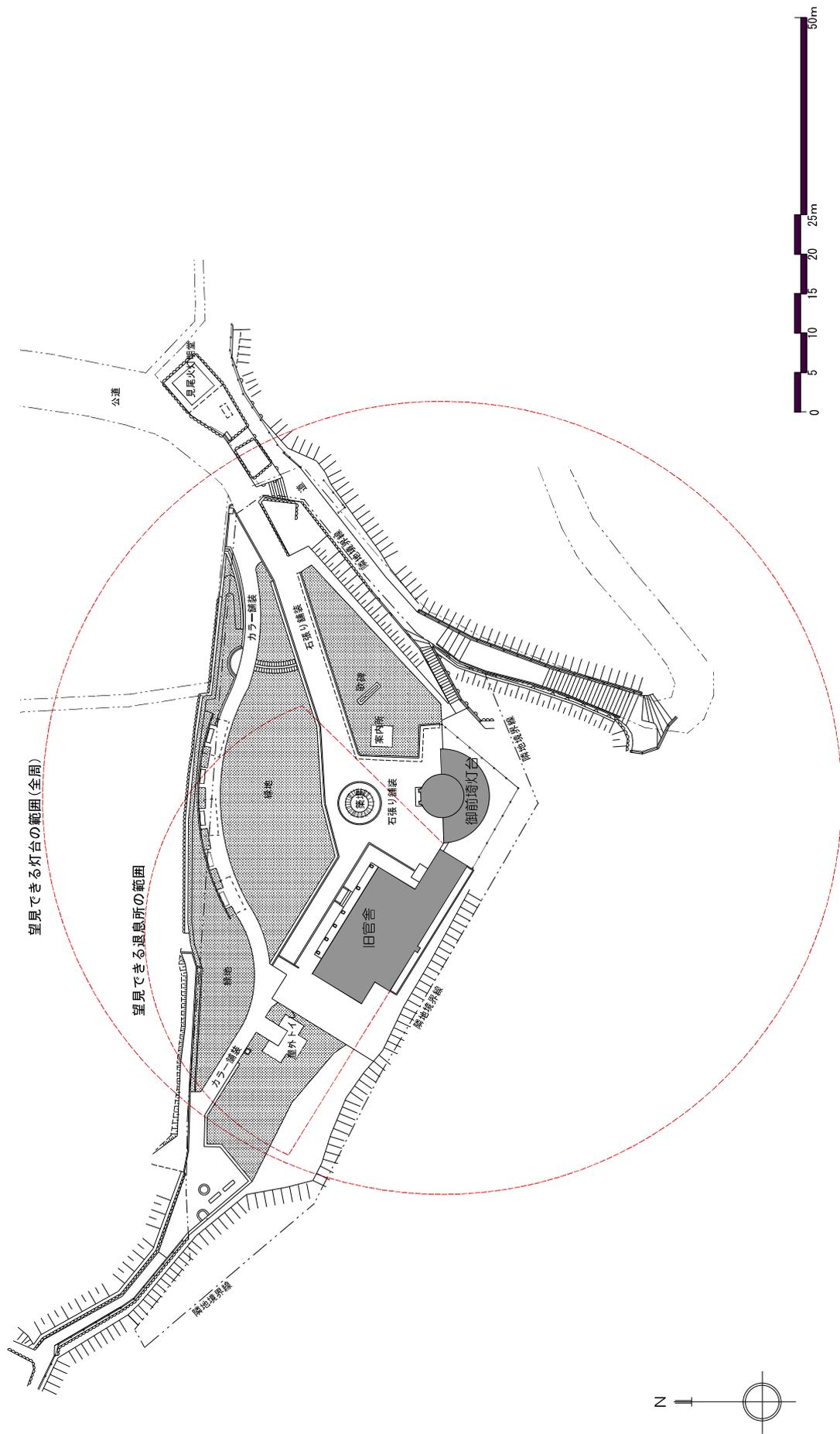
縮尺 1 / 600

法典図

図解名

御前崎灯台文化財調査

工事名称  
令和2年度文化財保護事業



第31図 通常望見できる範囲図

引用 御前崎灯台周辺整備工事図 (所蔵：御前崎市)

工事名称  
令和2年度文化財保護事業 御前崎灯台文化財調査

図面名  
通常望見できる範囲の図

縮尺  
1/500

担当

年月日

一般建築士事務所 村松建築設計事務所 一般建築士登録番号 138284  
〒407-1612 静岡県御前崎市池新田 4285-2 TEL.0537-65-9301 FAX.0537-65-9302 村松浩次

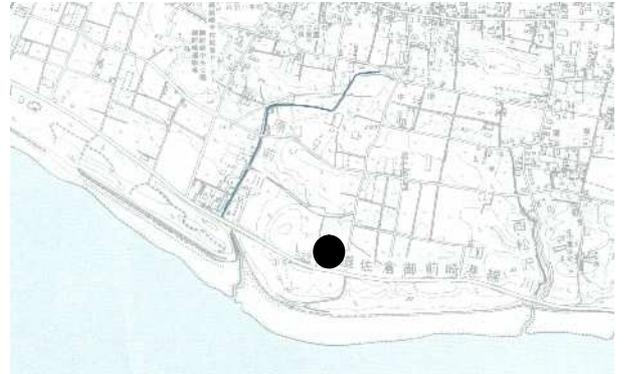
図面番号  
A-14

## 6 文化財看板の修繕及び更新工事

### (1) 白羽の風蝕礫産地・万葉歌碑案内看板の修繕工事

- 1 施工年月日 令和2年4月10日
- 2 施工場所 御前崎市白羽6814番地2
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

修繕した案内看板は、平成18年度に設置されたものであったため、経年劣化により看板の盤面の文字が見えないほど薄くなっていたため、今回修繕工事を実施した。



第32図 白羽の風蝕礫産地の位置(1/25,000)



1 案内看板の修繕前



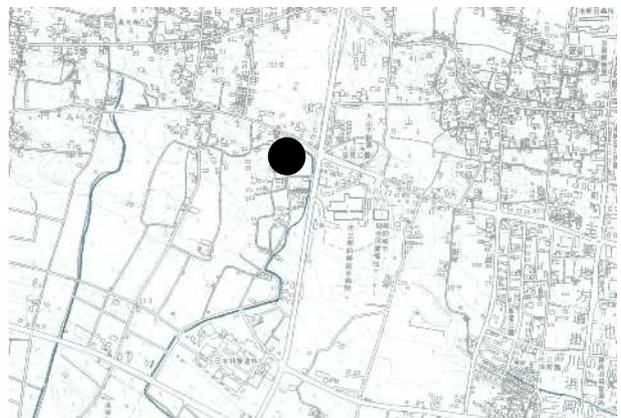
2 案内看板の修繕後

写真20 白羽の風蝕礫産地・万葉歌碑案内看板修繕工事

### (2) 駒止観音堂案内看板・説明看板の更新工事

- 1 施工年月日 令和2年4月16日
- 2 施工場所 御前崎市池新田1724番地3
- 3 施工業者 総合看板ジャスト
- 4 施工理由

更新工事を実施した案内看板及び説明看板は平成16年の御前崎市制施行以前の浜岡町時代に設置されたもので、経年劣化により説明看板は根腐れにより倒れてしまい、案内看板も倒れそうな状態になっていたため、今回更新工事を実施した。



第33図 駒止観音堂の位置(1/25,000)



1 更新工事以前の駒止観音堂案内看板



2 更新工事後の駒止観音堂案内看板

写真 21 駒止観音堂案内看板の更新工事



1 更新工事以前の駒止観音堂案内看板



2 更新工事後の駒止観音堂説明看板

写真 22 駒止観音堂説明看板の更新工事

## 7 御前崎市文化財保護審議会

御前崎市文化財保護審議会は、平成16年4月1日に施行された「御前崎市文化財保護条例」及び「御前崎市文化財保護審議会条例」に基づき同年4月に設置された。同会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査・審議し、これらの事項に関して教育委員会に答申することを目的とする。

### (1) 委員の構成（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

役職名	氏名	就任年月日	地区
会長	清水 芳治	R2.4.1 (H24.4.1)	佐倉
副会長	齋藤 正敏	R2.4.1 (H21.4.1)	白羽
委員	大須賀 春爾	R2.4.1 (H3.4.1)	御前崎
委員	中山 貞雄	R2.4.1 (H16.4.1)	高松
委員	橋本 益利	R2.4.1 (H24.4.1)	比木
委員	渥美 周逸	R2.4.1 (H25.4.1)	新野
委員	河原崎 尚己知	R2.4.1 (H30.4.1)	朝比奈
委員	浅井 義幸	R2.4.1 (R2.4.1)	池新田

\*就任年月日の（ ）は、旧町からの初就任年月日を示す

### (2) 第1回文化財保護審議会

日時 令和3年2月15日（月） 13:30～14:30

場所 朝比奈地区センター 会議室4・5

- 議事
- ① 正・副会長選出
  - ② 「旧朝比奈小学校の黒松」の御前崎市指定文化財の諮問に係る調査審議について
    - ・現地調査
    - ・審議
  - ③ その他
    - ・主要文化財保護事業報告について
    - ・その他



写真 23 文化財保護審議会の審議風景



写真 24 文化財保護審議会の会長挨拶風景

### Ⅲ 文化財活用啓発活動

#### 1 御前崎市文化財講座

##### (1) 佐倉地区の文化財講座の概要

御前崎市内には、古墳、横穴、中世城館や墓地などの埋蔵文化財や建造物、彫刻、絵画、史跡名勝天然記念物などの指定文化財が数多くある。これらの御前崎市内の文化財を活用し、市民の文化財についての理解を深めるため「御前崎市文化財講座」を平成30年度から開設している。今年度は、佐倉地区の文化財講座を佐倉地区センターとの共催事業として開催した。

・講演会場 佐倉地区センター1階研修室

##### (2) 佐倉地区文化財講座の内容

回数	開催日時	参加人数	テーマ	講師
第1回	令和2年10月17日(土)	33名	「薩田ヶ谷横穴群の概要」 「佐倉地区の歴史と文化財」	市教育委員会社会教育課 村本 薫 市文化財保護審議会委員 清水芳治
第2回	令和2年10月24日(土)	32名	「宮内地区と桜ヶ池周辺の文化財巡り」 「薩田ヶ谷横穴群の見学」 「桜ヶ池周辺の文化財巡り」	市文化財保護審議会委員 清水芳治 市教育委員会社会教育課 村本 薫 池宮神社 宮司 佐倉東武

○文化財巡りコース (A・B班の二班に分かれて実施)

##### ・A班

浜岡東小第2駐車場集合・バスに乗車して出発→薩田ヶ谷横穴群(以下、徒歩で移動)→宮内神社→首取坂→弁天池→浜岡東小第2駐車場でバスに乗車して出発→桜ヶ池周辺(桜ヶ池・池宮神社本殿等)→浜岡東小第2駐車場到着・解散

##### ・B班

浜岡東小第2駐車場集合・徒歩で出発→弁天池→首取坂→宮内神社→薩田ヶ谷横穴群→桜ヶ池周辺(桜ヶ池・池宮神社本殿等)→浜岡東小第2駐車場到着・解散



1 薩田ヶ谷横穴群の概要説明の様子



2 佐倉地区の歴史と文化財講演会の様子



3 薩田ヶ谷横穴群の見学風景(A班)



4 薩田ヶ谷横穴群の見学風景(B班)



5 宮内神社の見学(A・B班)



6 宮内神社の見学(B班)

写真 25 御前崎市文化財講座第2回宮内地区と桜ヶ池周辺の文化財巡り 1



1 首取坂の見学 (A班)



2 首取坂の見学(B班)



3 弁天池の見学(B班)



4 池宮神社本殿の説明風景(B班)



5 池宮神社資料館の見学風景(A・B班)



6 池宮神社本殿の見学風景(A班)

写真 26 御前崎市文化財講座第2回宮内地区と桜ヶ池周辺の文化財巡り2

## 2 御前崎市歴史講演会

### (1) 御前崎歴史講演会の概要

10月31日(土)に佐倉地区センター多目的ホールで御前崎市歴史講演会「高天神城の戦いの真相に迫る～御前崎市の山城から～」を開催した。市内外から受講者117名が参加した。

平成29年度のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」応援プロジェクト事業による歴史講座や平成30年度以降の文化財保護事業による文化財講座で御前崎市の城郭について講師を務めた城郭の研究者である水野茂氏による歴史講演会を総括として開催した。この講演会で市民が御前崎市の歴史について学ぶことにより、城郭や郷土史についての地域学習や生涯学習の活性化につなげることを目的としている。

### (2) 講演内容

御前崎市には多くの山城が存在している。誰がどんな目的で築いたのかは史資料もなく幻の山城ではあるが、高天神城を制していた武田氏の領域であることは間違いない。

武田・徳川両軍による高天神城をめぐる最後の戦いは、家康か信長が主導であったのか、御前崎市の現地調査と文献から見直し真相に迫る講演を行った。



1 歴史講演会の開会風景



2 水野茂講師による講演



3 歴史講演会の講演風景1



4 歴史講演会の講演風景2

写真27 御前崎市歴史講演会の講演風景

### 3 写真資料の利用

#### (1) 毎日新聞旅行による写真資料の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○舟ヶ谷城山の全景	1枚	歴史探訪の企画型募集旅行を実施するにあたり、募集チラシ及びホームページに写真を掲載するために利用	令和2年 4月15日
○八幡平城跡の本曲輪	1枚		

#### (2) 株式会社ニチコミによる写真利用の利用

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日
○ねずみ塚写真	4枚	老人会会報誌(御前崎シニアクラブ連合会のシニアクラブだより)に掲載するために利用	令和3年 1月5日
○猫塚写真	3		

#### (3) 御前崎市エネルギー政策課による写真資料の利用一覧

写真資料名	枚数	利用目的	利用許可日	
○池新田地区(昭和49年)	1枚	『浜岡原子力発電所立地の申し入れから50年のあゆみ動画』に掲載するため利用	令和2年12月21日	
○佐倉地区(昭和44年)	1枚			
○浜岡原子力発電所予定地(昭和43年)	1枚			
○用地交渉委員会(昭和42年)	1枚			
○浜岡原子力発電所2号機増設に関する「協定書」に調印する河原崎町長(昭和48年)	1枚			
○原子力発電所設置反対運動(昭和42年)	1枚		令和3年1月19日	
○講演会	1枚			
○浜岡原子力発電所1号機起工式	1枚			
○第4代 浜岡町長 河原崎 貢 (S42. 4.30～(S50. 4.29～)	1枚			
○池新田中町交差点東側(昭和44年)	1枚			令和3年1月27日
○池新田中町交差点東側(平成)	1枚			
○信号機が設置された中町交差点(昭和42年)	1枚			
○信号機が設置された中町交差点(平成)	1枚			

### 4 歴史民俗資料等の貸出し

#### (1) 御前崎市エネルギー政策課への貸出資料一覧

貸出資料名	点数	所有者	貸出期間
○『砂丘に築く 原子力発電所1号機(総集編)』8mmフィルム	1点	御前崎市教育委員会	令和3年1月28日～ 令和3年2月3日

(2) 中部電力株式会社浜岡原子力発電所『浜岡原子力館郷土展示ホール』貸出資料一覧

貸出資料名	点数	出土地及び使用地	貸出期間
陶器(四耳壺)	1点	比木殿ノ山	令和2年4月1日～令和3年3月31日
須恵器(長頸壺)	1点	石田横穴群	令和2年4月1日～令和3年3月31日
須恵器(平瓶)	1点	実際寺横穴群	令和2年4月1日～令和3年3月31日
風呂鍬	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
麦蒔き機	1点	合戸	令和2年4月1日～令和3年3月31日
水田除草機	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
唐箕	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
背負子	1点	新野	令和2年4月1日～令和3年3月31日
蓑	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
菅笠	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
藁草履	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
消防用手押消火ポンプ	1点	佐倉	令和2年4月1日～令和3年3月31日
竜吐水師	1点	佐倉	令和2年4月1日～令和3年3月31日
消防団法被	1点	佐倉	令和2年4月1日～令和3年3月31日
纏	1点	佐倉	令和2年4月1日～令和3年3月31日
ランプ	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
電話機	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
蓄音機	1点		令和2年4月1日～令和3年3月31日
合計	18点		令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 5 歴史民俗資料等の特別利用許可

資料名	数量	利用目的	利用許可日
丸尾家文書 ○公撰会日誌(明治9・10年) ○国安端架橋資料綴(明治20年) ○静岡県小笠郡棚草村之内丸尾合名会社所有 耕地山林原野略図(扣分) ○地図(丸尾開拓場・第参号) ○地図(丸尾開拓場・第六号) ○窮民御救地仕法(明治3.10.) ○丸尾組川越忍足33名の名簿(明治) ○鴻益社雑綴(明治13年) ○謙光社社長・取締役の氏名(明治17.5.1) ○明治37年度営業報告書(明治38.3.5)	10点	自由民権現代研究会 のホームページに掲 載するため利用	令和2年6月30日

## IV 指定文化財一覧表

### 1 国指定文化財

No.	種別	指定名称	所在地	所有者	指定年月日
1	天然記念物	白羽の風蝕礫産地	白羽6621-246他	御前崎市他	S18. 8. 24
2	天然記念物	御前崎のウミガメ及びその産卵地	御前崎海岸	—	S55. 3. 6

### 2 県指定文化財

No.	種別	指定名称	所在地	所有者	指定年月日
1	名勝	桜ヶ池	佐倉5162	池宮神社	S29. 1. 30 第34号
2	彫刻	木造十一面観音立像(1軀)	御前崎4434	海福寺	S31. 10. 17 第118号
3	無形民俗文化財	桜ヶ池のお櫃納め	佐倉5162	お櫃納め保存会	S61. 12. 5 第538号
4	天然記念物	比木賀茂神社の社叢	比木2815	賀茂神社	H9. 2. 17 第509号

### 3 市指定文化財

No.	種別	指定名称	所在地	所有者	指定年月日
1	建造物	白羽神社本殿(入母屋造)	白羽3511	白羽神社	S44. 6. 25 第1号
2	建造物	駒形神社本殿(入母屋造)	御前崎937-1	駒形神社	S44. 6. 25 第2号
3	史跡	旱の糞造跡(823㎡)	白羽2179 1他	加藤英男他2名	S44. 6. 25 第3号
4	古文書	武田家朱印状(3通)	白羽3511	白羽神社	S45. 10. 15 第4号
5	彫刻	地蔵菩薩尊像(青銅製立像1軀)	白羽3105-1	増船寺	S45. 10. 15 第5号
6	天然記念物	いちょうの木(1本)	御前崎4434	海福寺	S48. 10. 18 第6号
7	彫刻	日光菩薩立像(1軀)・月光菩薩立像(1軀) 薬師如来立像(1軀)・十二神将立像(12軀)	白羽963	紅雲寺	S49. 9. 19 第7号
8	歴史資料	いもじいさんの碑(顕彰碑・宝篋印塔各1基)	御前崎4434	海福寺	S49. 9. 19 第8号
9	古文書	中山家文書(39通)	門屋952-1	中山貞雄	S52. 2. 28 第9号
10	古文書	本間家文書(15通)	池新田5560	本間 周	S52. 2. 28 第10号
11	史跡	薩田ヶ谷横穴群	宮内1047-18	山本雅己	S53. 9. 4 第11号
12	建造物	旧妙音庵薬師堂(附:薬師三尊・十二神将)	下朝比奈1739	旧妙音庵薬師堂保存会	S62. 10. 28 第12号
13	建造物	池宮神社本殿	佐倉5162	池宮神社	H2. 5. 17 第13号
14	天然記念物	イスノキ群生林(1数本)	白羽3454-6	滝 朝夫	H3. 11. 20 第14号
15	絵画	千羽の鶴(1点)	御前崎937-1	駒形神社	H6. 1. 31 第16号
16	天然記念物	マキの木(1本)	白羽3511	白羽神社	H6. 1. 31 第17号
17	彫刻	玄翁堂の木造十一面観音菩薩像 (立像1軀・座像1軀)	上朝比奈1030-2	玄翁堂の木造十一面観音菩薩保存会	H10. 3. 27 第18号
18	彫刻	大日寺の大日如来座像(1軀)	下朝比奈605	大日寺大日如来保存会	H10. 3. 27 第19号
19	古文書	水野家文書(1通)	池新田5560	水野信幸	H10. 3. 27 第20号
20	歴史資料	御用提灯と収納箱(4点)	池新田5560	御前崎市	H11. 12. 1 第21号
21	有形民俗文化財	石造十一面観音菩薩像(附:石造三十三観音像)	御前崎5067-1	増船寺	H17. 1. 1 第22号
22	建造物	高松神社本殿(入母屋造)	門屋2068	高松神社	H19. 9. 25 第23号
23	歴史資料	旧朝比奈小学校の青い目の人形 (附:マーベル・ワレンの切符)	池新田5560	御前崎市教育委員会	H20. 12. 19 (附:H26. 5. 26) 第24号
24	彫刻	岩地正八幡神社神像	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第25号
25	建造物	岩地正八幡神社本殿	下朝比奈239-2	岩地正八幡神社保存会	H27. 12. 25 第26号
26	書跡	徳川慶喜揮毫の池宮神社扁額	佐倉5162	池宮神社	H28. 11. 25 第27号
27	天然記念物	旧朝比奈小学校の黒松	下朝比奈2681-2	御前崎市	R3. 3. 24 第28号

## V 文化財関係刊行図書一覧

### 1 旧御前崎町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和45年度	『郷土のかおり一年中行事と習俗』	平成13年度	『おまえぎきの文化財』
昭和61年度	『ふるさとの岬』	—	アカウミガメ上陸・産卵・孵化状況報告書
平成8年度	静岡県御前崎町『星の糞遺跡発掘調査報告書』		

### 2 旧浜岡町文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和60年度	『石田・蓮前支群発掘調査報告書』	平成11年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅰ』
昭和63年度	『門屋横穴群石田2号横穴・新井平横穴群発掘調査報告書』	平成11年度	『目で見る 浜岡の文化財』
昭和63年度	『浜岡町文化財』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第7集 『比木城山遺跡』
平成8年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第4集 『中尾殿之谷横穴群』	平成12年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第8集 『南谷遺跡 遺物編Ⅰ(木製品図版編)』
平成9年度	『郷土の歴史と沿革 浜岡人物誌 池新田・高松編』	平成12年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅱ』
平成9年度	『静岡県指定天然記念物 比木賀茂神社社叢 比木自然公園自然生態系基本調査報告書』	平成13年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集 『南谷遺跡 遺物編2(木製品本文・石器・骨角製品)』
平成9年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第5集 『南谷横穴群』	平成13年度	静岡県小笠郡浜岡町『文化財年報Ⅲ』
平成10年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第6集 『山田遺跡』	平成14年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第10集 『南谷遺跡 遺構編』
平成10年度	浜岡町佐倉地区民俗調査報告書 『「桜ヶ池のお櫃納め」と佐倉の民俗』	平成15年度	浜岡町埋蔵文化財調査報告書第11集 『南谷遺跡 遺物編Ⅲ(土器・土製品)』

### 3 御前崎町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成2年度	『御前崎町史 資料編』	平成4年度	『御前崎町史 写真集』
平成2年度	『御前崎町史 資料編(近世一)』	平成8年度	『御前崎町史(通史編)』

### 4 浜岡町史編さん関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
昭和50年度	『浜岡町史』	平成15年度	『桜井家(旧比木村川崎谷)文書』—近世—
平成12年度	『浜岡町所在文書目録 第1集』	平成16年度	浜岡町史別冊四 『証言集 町民が語る近現代の歩み』
平成12年度	浜岡町史別冊一『萩原佐吉 茶業見聞録・ 新道開鑿日記』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(考古)』
平成13年度	浜岡町史別冊二 『佐倉村誌・朝比奈村郷土誌』	平成17年度	『浜岡町史 資料編(古代・中世)』
平成14年度	浜岡町史別冊三 『新野村誌・池新田村誌』	平成17年度	浜岡町史別冊五 『中世埋蔵銭と古墳時代の横穴・古墳』
平成15年度	『風紋—浜岡町・閉町記念写真集—』	平成22年度	『浜岡町史 通史編』
平成15年度	『浜岡町史 民俗編』		

5 御前崎市文化財関係図書

発行年度	刊行図書名	発行年度	刊行図書名
平成16年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第1集 『比木城山遺跡Ⅱ』	平成21年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第3集 『山田ヶ谷北横穴群』
平成16年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅰ』平成16年度版	平成22年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅵ』平成21年度版
平成17年度	御前崎市文化財講座企画展第1弾 『新野川流域の文化財』	平成23年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅶ』平成22年度版
平成17年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅱ』平成17年度版	平成24年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅷ』平成23年度版
平成18年度	御前崎市文化財講座企画展第2弾 『朝比奈川流域と池新田の文化財』	平成25年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅸ』平成24年度版
平成18年度	御前崎市埋蔵文化財調査報告書第2集 『勝佐墳墓群』	平成25年度	御前崎市の指定文化財
平成19年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅲ』平成18年度版	平成26年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅹ』平成25年度版
平成19年度	御前崎市文化財講座企画展第3弾 『箴川流域の文化財』	平成26年度	御前崎指定史跡「薩田ヶ谷横穴群」パンフレット
平成20年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅳ』平成19年度版	平成27年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅠ』平成26年度版
平成20年度	御前崎市文化財講座企画展第4弾 『大原川・中西川流域と御前崎の文化財』	平成28年度	静岡県御前崎市『文化財年報ⅩⅡ』平成27年度版
平成21年度	静岡県御前崎市『文化財年報Ⅴ』平成20年度版	令和元年度	高天神城跡をめぐる武田系城砦群 —御前崎市新野・朝比奈・比木地域とその周辺—

※御前崎市文化財年報は、平成29年度版の文化財年報ⅩⅢ以降は刊行していないが、御前崎市のホームページに掲載している。

静岡県御前崎市  
文化財年報ⅩⅦ

令和3年3月31日

編集 静岡県御前崎市教育委員会  
〒437-1692 静岡県御前崎市池新田 5585  
TEL 0537-29-8735  
FAX 0537-29-8737